

# 支出調書

会派名		代表者	経理責任者	起案者		
				柳田尚一		
区分		事由	費目・金額			小計
1	調査研究費		交通費		旅費	
			自動車燃料費		資料作成費	
			調査委託費		振込料	
2	研修費		会場費		講師謝金	
			出席者負担金・会費		交通費	
			旅費		自動車燃料費	
			資料作成費		食糧費	
			振込料			
3	広報費		会場費		交通費	
			自動車燃料費		資料作成費	
			広報誌(紙)		報告書等印刷費	
			送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代	
			茶菓子代		振込料	
4	広聴費		会場費		交通費	
			自動車燃料費		資料作成費	
			茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費		交通費		旅費	
			自動車燃料費		資料作成費	
			振込料			
6	会議費		会場費		交通費	
			自動車燃料費		資料作成費	
			振込料			
7	資料作成費		印刷製本費		翻訳料	
			筆耕料		振込料	
8	資料購入費	D-File2023年4月発行号	法規追録代		参考図書代	
			新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	4,950
			有料データベース等利用料		振込料	
9	人件費		賃金		社会保険料等	
			振込料			
10	事務所費		備品購入費		事務機器等リース代	
			消耗品等事務費		印刷代	
			振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等	
			自動車燃料費(按分)		その他	
支出年月日		2023年4月27日	現金出納簿 支出番号	1	合計	4,950

支出明細書兼支出証明書

支出番号 1

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		雑誌等購読料 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	⑧ 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)		調査研究に係る雑誌購読料			
内 容		D-file 2023年4月発行号(3月号)上・下			
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2023年4月27日	イマジン出版株式会社		4,950 円		
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	共通

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	00100	6	※ 通常払込 料金加入 者負担
	34749		
加入者名	イマジン出版株式会社		
金額	千	百	十
	万	千	百
	十	円	
金額	¥ 4 9 5 0		
ご依頼人	福島県郡山市朝日1-23-7 郡山市議会 立憲民主党郡山 様		
料金	〒941-0004 印 05-04-27 郡山 市役所内 郵便局 料金 110円		
備考	(82445)		

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

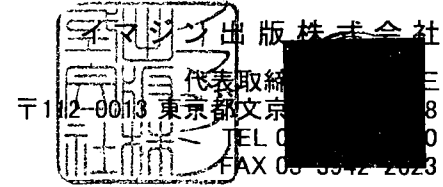
この受領証は、大切に保管してください。

立憲民主党郡山 様

11790

下記の通り納品致します。

¥4,950



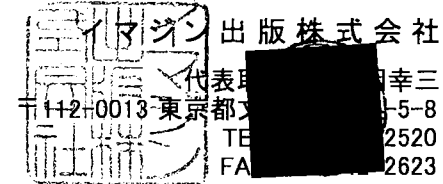
行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2023年4月発行号(3月号) 上・下	2	2,475	4,950
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要		合計	2	4,950

立憲民主党郡山 様

11790

下記の通り御請求申し上げます。

¥4,950



行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2023年4月発行号(3月号) 上・下	2	2,475	4,950
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要		合計	2	4,950

支出調書

会派名	代表者	経理責任者	起案者		
			柳田尚一		
立憲民主党郡山					
区分	事由	費目・金額			小計
1 調査研究費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		調査委託費		振込料	
2 研修費		会場費		講師謝金	
		出席者負担金・会費		交通費	
		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費	
		振込料			
3 広報費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代	
		茶菓子代		振込料	
4 広聴費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		茶菓子代		振込料	
5 要請・陳情活動費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
6 会議費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
7 資料作成費		印刷製本費		翻訳料	
		筆耕料		振込料	
8 資料購入費	自治体法律顧問シリーズQ&A議会人の危機管理	法規追録代	5,753	参考図書代	5,753
		新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	
		有料データベース等利用料		振込料	
9 人件費		賃金		社会保険料等	
		振込料			
10 事務所費		備品購入費		事務機器等リース代	
		消耗品等事務費		印刷代	
		振込料		配送手数料	
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等	
		自動車燃料費(按分)		その他	
支出年月日	2023年 4月 27日	現金出納簿 支出番号	2	合計	5,753

支出明細書兼支出証明書

支出番号 2

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名	
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		法規追録代	
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	⑧ 資料購入費			
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)					
支出目的 (支出事由)		調査研究に係る資料購入				
内 容		自治体法律顧問シリーズQ&A				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額			
2023年4月27日	株式会社 ぎょうせい		5,753 円			
上記のとおり支出します。						
				議員氏名	共通	印

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

通常払込料金 加入者負担	振替払込請求書 兼受領証
00140 ■ 8 ■ 10000	
加入者 株式会社 ぎょうせい	
金額 千 百 十 万 千 百 十 円 5 7 5 3	
振込先 みずほ銀行 銀行 東京営業部 支店	
<input checked="" type="checkbox"/> 依頼人住所氏名 普通預金 4913720 カギョウセイ 福島県郡山市 郡山市議会立憲・社民フォーラム 要打電項目: 303113245 様	振込金受領証 (金融機関・コンビニエンスストア専用) 私達人氏名 郡山市議会立憲・社 民フォーラム 様 お問い合わせ番号 500722521 金額 5,753 内消費税額 523 受取人 株式会社 ぎょうせい 振込先 みずほ銀行東京営業 部 普通 4913720 カギョウセイ 受領印 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 80px; height: 80px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">                     収入印紙貼付欄                      (CVS等取納用)                      受領日附印                 </div> (お客様控)
料 金 現金払 郵便局 (82445)	N94E10008 05-04-27 郡山 市役所内 郵便局 料金 110円 (CVS等店請控)

この受領証は、大切に保管してください。

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

請 求 書

市議会  
立憲・社民フォーラム

様 令和 5年 3月 23日

東京都江東区新木場1丁目18番11号 (〒136-8575)

株式会社きょう

代表取締役  
社長 成 吉

下記のとおりご請求いたします。

金額には消費税及び地方消費税が含まれております。

(0107-0016313)

ご請求額  
¥5,753.-

お得意様No.  
(請求No.) 50-0722521  
(303113245)

お支払は令和 5年 5月 31日までにお願いします。

品 名	追録号数	数 量	単 価	金 額	備 考
自治体法律顧問シリーズ の危機管理 Q&A議会人	11	1	5,753	5,753	

(振込先) みずほ銀行東京営業部 (001)  
普通預金 4913720 カ)キョウセイ  
(要打電項目) 303113245 コオリヤマシキカイ リッケンシャミンフ

( 319)

E

支出調書

会派名	代表者	経理責任者	起案者		
			立憲民主党郡山	柳田尚	
区分	事由	費目・金額			小計
1 調査研究費	交通費		旅費		
	自動車燃料費		資料作成費		
	調査委託費		振込料		
2 研修費	会場費		講師謝金		
	出席者負担金・会費		交通費		
	旅費		自動車燃料費		
	資料作成費		食糧費		
3 広報費	振込料				
	会場費		交通費		
	自動車燃料費		資料作成費		
	広報誌(紙)		報告書等印刷費		
	送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		
4 広聴費	茶菓子代		振込料		
	会場費		交通費		
	自動車燃料費		資料作成費		
5 要請・陳情活動費	茶菓子代		振込料		
	交通費		旅費		
	自動車燃料費		資料作成費		
6 会議費	振込料				
	会場費		交通費		
	自動車燃料費		資料作成費		
7 資料作成費	振込料				
	印刷製本費		翻訳料		
8 資料購入費	筆耕料		振込料		
	法規追録代		参考図書代		
	新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	3,080	3,080
	有料データベース等利用料		振込料		
9 人件費	賃金		社会保険料等		
	振込料				
10 事務所費	備品購入費		事務機器等リース代		
	消耗品等事務費		印刷代		
	振込料		配送手数料		
11 通信運搬・自動車燃料費	電話料等(按分)		郵便料等		
	自動車燃料費(按分)		その他		
支出年月日	2023年 4月 27日	現金出納簿 支出番号	3	合計	3,080

支出明細書兼支出証明書

支出番号 3

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名	
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		雑誌等購読料 ※該当する支出費目を記入	
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	⑧ 資料購入費			
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）					
支出目的 （支出事由）		調査研究に係る雑誌購読料				
内 容		D-file2023年2月発行号（1月号）合本				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額			
2023年4月27日	イマジン出版株式会社		3,080円			
上記のとおり支出します。						
				議員氏名	共通	印

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	* 0 0 1 0 0 - 6	※ 通常払込 料金を加入 者 黄 拒
	* 3 4 7 4 9	
加入者名	* イマジン出版株式会社	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	
	* ¥ 3 0 8 0	
ご依頼人	* 福島県郡山市朝日1-23-7 郡山市議会 立憲民主党郡山 様	
料金	印 94110003	
備考	現金払	05-04-27 郡山 市役所内 郵便局 料金 110円

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください

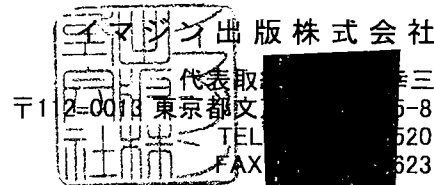


立憲民主党郡山 様

11790

下記の通り納品致します。

¥3,080



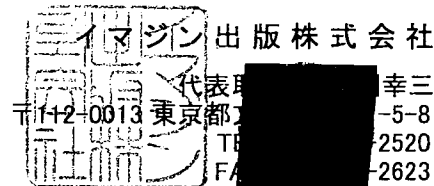
行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2023年2月発行号(1月号) 合本	1	3,080	3,080
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要		合 計	1	3,080

立憲民主党郡山 様

11790

下記の通り御請求申し上げます。




¥3,080



行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2023年2月発行号(1月号) 合本	1	3,080	3,080
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要		合 計	1	3,080

振込口座 ミスホ銀行エドガワパン(フ)1327831イマジンシユツパン(カ)

# 支出調書

会派名		代表者	経理責任者	起案者	
				柳田尚	
立憲民主党郡山					
区分	事由	費目・金額			小計
1	調査研究費	交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		調査委託費		振込料	
2	研修費	会場費		講師謝金	
		出席者負担金・会費		交通費	
		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費	
		振込料			
3	広報費	会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代	
		茶菓子代		振込料	
4	広聴費	会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
6	会議費	会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
7	資料作成費	複写サービス料金(令和5年1月~3月分)	1,352	印刷製本費	
				翻訳料	
8	資料購入費	筆耕料		振込料	
		法規追録代		参考図書代	
		新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	
9	人件費	有料データベース等利用料		振込料	
		賃金		社会保険料等	
10	事務所費	振込料			
		備品購入費		事務機器等リース代	
		消耗品等事務費		印刷代	
11	通信運搬・自動車燃料費	振込料		配送手数料	
		電話料等(按分)		郵便料等	
		自動車燃料費(按分)		その他	
支出年月日	2023年 4月 27日	現金出納簿 支出番号	4	合計	1,352

支出明細書兼支出証明書

支出番号 4

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名	
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		印刷製本費 ※該当する支出費目を記入	
5 要請・陳情活動費	6 会議費	⑦ 資料作成費	8 資料購入費			
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)					
支出目的 (支出事由)		政務活動に係る資料作成の為				
内 容		複写サービス料金(令和5年1月~3月分)				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額			
2023年4月27日	三英堂事務機株式会社		1,352円			
上記のとおり支出します。						
				議員氏名	共通	印

領収書

30-№ 004178

領 収 書

印 紙

令和5年4月27日

立憲民主党郡山市様

下記の通り領収致しました

新しい事務機 3AD 便利な文具

三英堂事務機株式会社

代表取締役 郡山市大町1-11-1

総務部 電話 931-6459  
営業センター 郡山市喜久田町卸1-50-1  
電話 (024)959-6220(代) FAX 959-6461

計 1,352

品 名	規格 銘柄	数量	単 価	金 額	摘 要
30-MT	1月~3月分	1枚		1,352	
					抜者印
消費税額					
合 計				1,352	

数

※欄内

# 請求書

令和5年4月25日

立憲民主党郡山 様

新しい事務機・便利な文具  
三英堂事務機株式会社  
代表取締役 柳沼 克良  
福島県郡山市喜久積町卸1-50  
TEL959-6220 FAX959-6461




下記の通り請求致します。

合計金額	¥1,352. - (税込み)
------	--------------------

品名	数量	単位	単価	金額	
1月分 複写サービス料金	モノクロ	137	枚	0.495	67
	カラー	0	枚	5.3273	0
2月分 複写サービス料金	モノクロ	1,874	枚	0.495	927
	カラー	0	枚	5.3273	0
3月分 複写サービス料金	モノクロ	725	枚	0.495	358
	カラー	0	枚	5.3273	0
消費税及び地方消費税を加算した価格です。					
合計				1,352	
備考					

No. 103716

支出調書

会派名	代表者	経理責任者	起案者		
			柳田尚		
立憲民主党郡山					
区分	事由	費目・金額			小計
1 調査研究費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		調査委託費		振込料	
2 研修費		会場費		講師謝金	
		出席者負担金・会費		交通費	
		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費	
		振込料			
3 広報費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代	
		茶菓子代		振込料	
4 広聴費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		茶菓子代		振込料	
5 要請・陳情活動費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
6 会議費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
7 資料作成費		印刷製本費		翻訳料	
		筆耕料		振込料	
8 資料購入費	D-file2023年3月発行号 (2月号)上・下) BeaconVol193 (春号)	法規追録代		参考図書代	
		新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	6,050
		有料データベース等利用料		振込料	
					6,050
9 人件費		賃金		社会保険料等	
		振込料			
10 事務所費		備品購入費		事務機器等リース代	
		消耗品等事務費		印刷代	
		振込料		配送手数料	
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等	
		自動車燃料費(按分)		その他	
支出年月日	2023年 4月 27日	現金出納簿 支出番号	5	合計	6,050

支出明細書兼支出証明書

支出番号 5

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		雑誌等購読料
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	⑧ 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 (支出事由)					※該当する支出費目を記入
調査研究に係る雑誌購読料					
内 容					
D-f i l e 2023 年 3 月 発行号 (2 月号) 上・下 BeconVol193 (春号)					
支出年月日		支 出 先		支 出 金 額	
2022 年 4 月 27 日		イマジン出版株式会社		6, 0 5 0 円	
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	共通
					㊟

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄           記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。	振替払込請求書兼受領証					
	口座記号番号	* 0 0 1 0 0			* 6	通常払込 料金加入 者 負担
		* 3 4 7 4 9				
	加入者名	* イマジン出版株式会社				
	金額	千	百	十	万	千 百 十 円
		* 3	* 4	* 7	* 4	* 9
	ご依頼人	* 福島県郡山市朝日1-23-7 郡山市議会 立憲民主党郡山 様				
	料金	附 94110002 印 05-04-27 郡山 市役所内 郵便局 料金 110円				
	備考	現金払 (82445)				
	この受領証は、大切に保管してください。					

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第 11 号様式「領収書等整理票」に貼付してください

立憲民主党郡山 様

11790

下記の通り納品致します。

¥6,050

イマジン出版株式会社  
 〒112-0013 東京都文京区 幸三  
 TEL 03-520  
 FAX 03-520

行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2023年3月発行号(2月号) 上・下	2	2,475	4,950
2	Beacon Vol.93(春号)	1	1,100	1,100
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要		合 計	3	6,050

請求書

立憲民主党郡山 様

11790




下記の通り御請求申し上げます。

¥6,050

イマジン出版株式会社  
 〒112-0013 東京都文京区 幸三  
 TEL 03-520  
 FAX 03-520

行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2023年3月発行号(2月号) 上・下	2	2,475	4,950
2	Beacon Vol.93(春号)	1	1,100	1,100
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要		合 計	3	6,050

支出調書

会派名		代表者	経理責任者	起案者	
立憲民主党郡山				柳田尚 	
区分	事由	費目・金額			小計
1	調査研究費	交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		調査委託費		振込料	
2	研修費	会場費		講師謝金	
		出席者負担金・会費		交通費	
		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費	
		振込料			
3	広報費	会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代	
		茶菓子代		振込料	
4	広聴費	会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
6	会議費	会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
7	資料作成費	印刷製本費		翻訳料	
		筆耕料		振込料	
8	資料購入費 月刊「ガバナンス」2023年4月号 ～2024年3月号	法規追録代		参考図書代	
		新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	6,077
		有料データベース等利用料		振込料	
9	人件費	賃金		社会保険料等	
		振込料			
10	事務所費	備品購入費		事務機器等リース代	
		消耗品等事務費		印刷代	
		振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等(按分)		郵便料等	
		自動車燃料費(按分)		その他	
支出年月日	2023年 5月 10日	現金出納簿 支出番号	6	合計	6,077



支出明細書兼支出証明書

支出番号 6

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		雑誌等購読料 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	⑧ 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)		調査研究に係る雑誌購読料			
内 容		月刊「ガバナンス」2023年4月号～2024年3月号 4/1～9/3 a日割り 14,256 ÷ 366 × 156 = 6,077円			
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2023年5月10日	株式会社ぎょうせい		6,077円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 共通 ㊞					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

通常払込料金 加入者負担 振替払込請求書 兼受領証		振込金受領証 (金融機関コンビニエンスストア等用)	
口座番号 00140 8 10000		私込入氏名 立憲民主党郡山 様	
加入者名 株式会社ぎょうせい		お問い合わせ番号 500883167	
金額 千 百 十 万 千 百 十 円 1 4 2 5 6		金額 14,256 内消費税額 1,296	
振込先 みずほ銀行 銀行 東京営業部 支店		受取人 株式会社ぎょうせい	
<input checked="" type="checkbox"/> 依頼人住所氏名 普通預金 4913720 かきょせい 福島県郡山市 立憲民主党郡山		振込先 みずほ銀行東京営業部 普通4913720 かきょせい	
要打電項目: 304068287 様		受領印	
料 金 現金払 (82445)		収入印紙貼付欄 (CVS等収納用) 受領日附印	
備考 (82445)		(お客様控)	

この受領証は、大切に保管してください。

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならぬように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

請 求 書

立憲民主党郡山

様 令和 5年 4月 3日

東京都江東区新木場1丁目18番11号 (〒136-8575)

株式会社きょう

代表取締役  
社長 成 吉

下記のとおりご請求いたします。

金額には消費税及び地方消費税が含まれております。(10%) (0450-0078648)

ご請求額

¥14,256.-

お得意様No.  
(請求No.)

50-0883167  
(304068287)

お支払は令和 5年 5月 31日までをお願いします。

品 名	追録号数	数 量	単 価	金 額	備 考
月刊「ガバナンス」 2023年 4月号～2024年 3月号	購読料	1	14,256	14,256	


(振込先) みずほ銀行東京営業部 (001) N 01230018243  
 普通預金 4913720 カ)キョウセイ ( 378)  
 (要打電項目) 304068287 リッケンミンシュトウコオリヤマ


E

支出調書

会派名	代表者	経理責任者	起案者		
			柳田尚一		
立憲民主党郡山					
区分	事由	費目・金額			小計
1 調査研究費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		調査委託費		振込料	
2 研修費		会場費		講師謝金	
		出席者負担金・会費		交通費	
		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費	
		振込料			
3 広報費	立憲民主党郡山だより第8号折込み料	会場費		交通費	311,655
		自動車燃料費		資料作成費	
		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)	311,655	ウェブページ掲載代	
		茶菓子代		振込料	
4 広聴費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		茶菓子代		振込料	
5 要請・陳情活動費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
6 会議費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
7 資料作成費		印刷製本費	555	翻訳料	
		筆耕料		振込料	
8 資料購入費		法規追録代		参考図書代	
		新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	
		有料データベース等利用料		振込料	
9 人件費		賃金		社会保険料等	
		振込料			
10 事務所費		備品購入費		事務機器等リース代	
		消耗品等事務費		印刷代	
		振込料		配送手数料	
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等	
		自動車燃料費(按分)		その他	
支出年月日	2023年 5月 25日	現金出納簿 支出番号		合計	311,655

支出明細書兼支出証明書

支出番号 

区 分 ※該当する区分に○印				費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	③ 広報費	4 広聴費	送料(折込み料含む)
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	※該当する支出費目を記入
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)			
支出目的 (支出事由)	政務活動に伴う広報誌(紙)の新聞折込みのため			
内 容	立憲民主党郡山市議会だより 第8号折込み料			
支出年月日	支 出 先	支 出 金 額		
2023年5月25日	陽光社印刷(株)	311,655円		
上記のとおり支出します。				
議員氏名 共通 				

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

## 領 収 書



No.004000

立憲民主党郡山 殿


¥ 312,593 -

但し郡山市議会立憲民主党郡山だより 第8号折込み料

令和5年5月25日 上記正に領収いたしました

現金	<input checked="" type="checkbox"/>	取扱者印 	
小切手	<input type="checkbox"/>		
約手	<input type="checkbox"/>		
振込	<input type="checkbox"/>		
相殺	<input type="checkbox"/>		

金額訂正並に社印・取扱者印なきものは無効とする



**陽光社印刷株式会社**  
代表取締役 佐藤 加  
社 福島市南大町1-1-1 2F TEL(024)563-4000 FAX(024)

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください

領収書等整理票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

請求書

2023年 4月 20日

No00045577

立憲民主党郡山 様

(150209-00)

毎度ありがとうございます。下記の通りご請求申し上げます。



陽光グループ株式会社

代表取締役

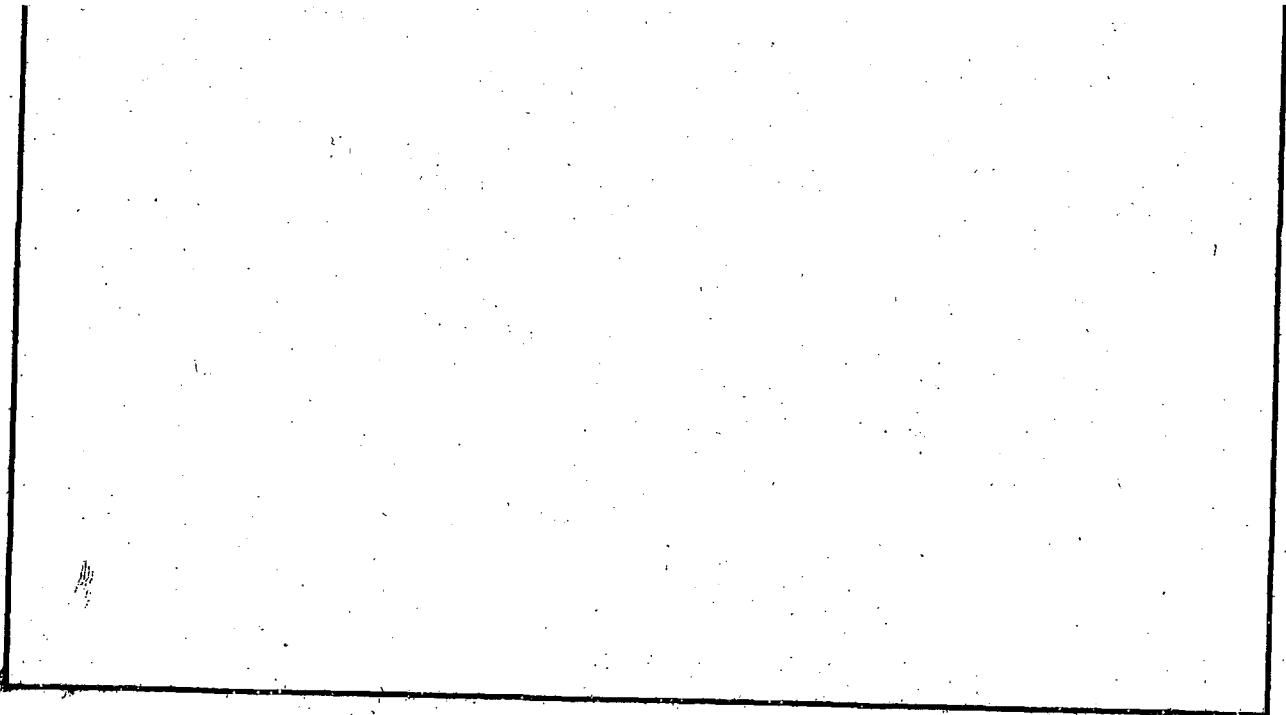
本社/福島市本町1丁目1番10号  
TEL:0249-22-1111  
東京連絡所/東京都港区新橋3丁目8番80号  
TEL:03-3352-7873

No.	品名	数量	単位	単価	金額	消費税等	摘要
23040034	郡山市議会 立憲民主党郡山だより 第8号 2023年4月23日発行 折込料	63,150	部	4.5	284,175	28,418	

担当: [Redacted]

取引銀行 東邦銀行本店(普) 350139  
福島銀行本店(普) 030451  
福島信用金庫本店(普) 0105482  
東北労働金庫福島支店(普) 3098115

税抜金額計	消費税等計	合計額
284,175	28,418	312,593



広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$364 \text{ mm} \times 257 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 374,192 \text{ mm}^2 \dots i$$

2 対象外面積

$$\textcircled{1} (43 \text{ mm} \times 7 \text{ mm}) \times 2 \text{ か所} = 602 \text{ mm}^2$$

$$\textcircled{2} (43 \text{ mm} \times 5 \text{ mm}) \times 1 \text{ か所} = 215 \text{ mm}^2$$

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} = 817 \text{ mm}^2 \dots ii$$

3 按分割合

$$ii \div i \times 100 = \text{対象外按分率 } 0.3 \% \text{ (小数点第2切り上げ)}$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 312,593 \text{ 円} \times \text{対象外按分率 } 0.3 \% = 938 \text{ 円} \dots iii$$

(1円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 312,593 \text{ 円} - iii = \underline{\underline{\text{対象経費 } 311,655 \text{ 円}}}$$

# 立憲民主党郡山だより

発行所 立憲民主党郡山市議団  
〒970-0801 郡山市中野町一丁目1番1号  
TEL 0249-22-1111 FAX 0249-22-1112  
E-MAIL chousei@city.yamanashi.lac.jp

# 3

## 3月市議会「議案」の特徴

# コロナ感染症対策の充実・少子高齢化に歯止めをかけ未来の郡山市を創ろう

新型コロナウイルス感染症対策の方針が改定され、マスク着用が3月から「個人の判断」に委ねられました。マスク着脱の判断として医療機関や高齢者施設、混雑した公共交通機関等ではこれまで同様マスク着用とし、自分と他人を守る役割を基本とします。また、感染症法上では、新型コロナウイルス感染症は「2類」の扱いとなっていました。5月8日から、インフルエンザと同じ「5類」に引き下げることにしました。

今後、感染した方の診療費や入院費は自己負担となり、診療を諦めてしまう感染者が「コロナ難民」となりかねず、また新たな変異株により第9波が発生するかもしれません。自己責任には限界があります。治療薬の確立、医療の拡充を整備してからも遅くはありません。

立憲民主党郡山市議団は、市民が安全・安心して暮らせる市政を目指してまいります。

## ベビーファースト（子本主義）実現型へ

3月定例会は2月17日開会、3月17日閉会の日程で開催されました。

3月定例会提出議案の概要は、令和4年度3月補正予算議案13件、同条例議案8件、同補正議案4件、同その他の議案6件であり、令和5年度当初予算議案30件、条例議案10件、その他の議案2件です。令和4年度3月補正後の一般会計は1,544億3,081万5千円、特別会計及び企業会計は1,044億7,038万6千円、合計2,589億120万1千円でした。令和5年度当初予算は1,340億円、特別会計（企業会計含む）1,041億4,912万6千円で、予算総額2,381億4,912万6千円でした。主な事業は、「ベビーファースト推進事業」、「DX推進・活用事業」等でした。

## 立憲民主党郡山・飯塚、八重樫議員登壇

立憲民主党郡山市議団は代表質問に八重樫小代子議員、市政一般質問に飯塚議員が登壇しました。八重樫小代子議員は、1. ベビーファースト推進について、2. 切れ目のない子育て支援について、3. 学校図書館について、4. 駐車場について、5. 放課後児童クラブについて、6. 新型コロナウイルス対策について。

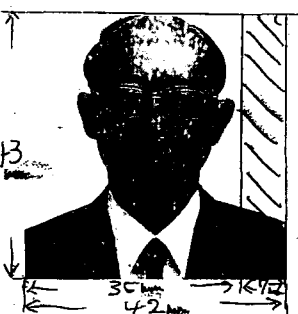
飯塚裕一議員は、1. 高齢者、交通弱者等に対する支援の充実について、2. 学校現場の働き方改革について、3. 子育て環境の充実・強化について、4. 地域活動への支援の充実について、当局を質しました。

## 開成山公園及び体育施設の駐車場有料化に反対！ 請願7件に賛成！

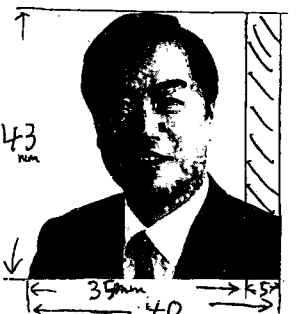
今定例会で提案された市役所・ニコニコこども館の駐車場は、目的外利用者以外は無料としましたが、開成山公園及び体育施設利用者との間に矛盾が生じており、当初予算について反対しました。請願7件については、「インボイス制度導入中止をもとめる意見書」、「国保の負担軽減」、「後期高齢者医療の保険料引き下げ」、「高齢者の乗り合いバス無料化」、「保険調剤薬局無料低額診療…」、「原発回帰のGX法案」、「最低賃金引き上げ」の請願と当初予算に柳田尚一議員が討論を行いました。が、「最低賃金引き上げ」以外は不採択となりました。詳細は3面、4面で報告します。



総務財政常任委員  
八重樫小代子（七期目）  
立憲民主党郡山市議団会長  
郡山市七ツ池町五一―一六  
TEL FAX 九二二―〇五一六



文教福祉常任委員  
飯塚 裕一（二期目）  
立憲民主党郡山市議団幹事長  
郡山市字菜根屋敷二三―一六六  
TEL FAX 九三二―一九九七



建設水道常任委員  
柳田 尚一（二期目）  
立憲民主党郡山市議団経理担当  
郡山市逢瀬町河内字屋敷一五七  
TEL FAX 九五七―三二一四

366

## 代表質問

市政について、立憲民主党郡山から質問しました。

【質問者】 **八重樫 小代子**

### 子どもの貧困対策は早急に具体化を！

**質問** 昨年7月に本市が独自に行った「子ども生活実態調査」の結果では、2020年厚生労働省算出の全国の「子どもの貧困率」13.5%に対し今回の郡山市調査では12.7%、本市貧困世帯の51.5%が二人親世帯、47.5%がひとり親世帯であった。1月31日に開催された、パネルディスカッション「子どもの貧困」を考える一のパネラーなどから、貧困対策として、予防、奨学金、賃上げ、社会保障、地域の居場所、就労支援、学習支援、食糧支援等が出たが、今後の支援策、不十分な雇用問題等の取組みは。

**回答** 子どもの貧困は広く言えば子どもを育てるファミリーの貧困という側面もあり「ベビーファースト」「ベビーファミリーファースト」という考え方もありますので、そのような観点からどのような方策があるか研究し、最低賃金について

も、今の初任給の数字的な実態調査し、いろんな角度から民間雇用者をお願いすること、行政、政府でやれることを多角的に検討します。

### 学校給食は小・中同じに無償化を！

**質問** 他自治体で無償化が進む中、本市の給食の全額公費負担予算案は、なぜ、中学生のみなのか、小学生は考えられなかったのか。中学生同様に小学生も、基金を取崩してでも全額公費負担とすべき。

**回答** 2022年12月に文部科学省が公表した「令和3年度子供の学習費調査」の結果では、教育費の負担は中学生が特に大きい現状にあることなどから、中学生の保護者の経済的負担軽減を図るために予算上程しました。今後も郡山市学校給食庁内研究会を継続するとともに、保護者、生産者などのお知恵をいただきながら、小学校給食費公費負担について検討を重ね、2024年度の予算に計上できるよう遅くとも年内にはその方向性を定めてまいります。

### ようやく始まるヤングケアラー支援は。

**質問** 福島県は2月10日、昨年9～11月、学校で文書に回答する方法で実施したヤングケアラーに関する初めての实態調査結果（速報）を示し、小学5年生から高校3年生まで約11万9千人のうち10万2,371人が回答。約630人がヤングケアラーであると認識しており、県は新年度、支援策を充実させ、福島、郡山、いわきなど10市町と連携し、子どもが担っている家事を代行するサービスの提供を始めるとのことです。県の実態調査による本市の人数と家事代行サービスの実施内容は。

**回答** 本市の2万1,092人が回答したうち、自分自身がヤングケアラーであると認識している人数は、98人、約0.5%で、ヤングケアラーがいる家庭にヘルパー等が訪問し、ヤングケアラーが担っている家事や育児の代行支援等を行う事業で、国・県の補助金を財源にして来年度当初予算に計上しました。

## 一般質問

市政について、立憲民主党郡山から質問しました。

【質問者】 **飯塚 裕一**

### 高齢者、交通弱者等に対する支援の充実を！

**質問** 交通に関する高齢者等の支援について、他自治体への調査をいつ実施し、分析・評価をいつまでに完了させるのか。また、分析・評価をもとに効率的・効果的な支援のあり方について、どの部署がいつまでに立案し、具体的事業として具現化させていくのか。

**回答** 調査は、主に中核市を対象に公共交通の利用状況や新たなモビリティサービスの導入など、地域交通の実態及び高齢者の支援について調査を予定している。また、庁内関係部局と連携を図り、2023年度に調査に着手し、速やかに分析・評価していく。具現化については、各部局と連携、情報共有しながら精査を進め、既存事業を基本とし、要望に対して、施策の効果や持続性等も考慮しながら事業の検討が進めら

れるものと考えている。

※速やかに調査・分析・評価を進め、他市町村に劣らない支援策の具現化を進めていく必要があります。

### 希望する児童が全員入所できる放課後児童クラブを！

**質問** 希望する児童が全員入所できる体制をどのように構築していくのか。

**回答** 新1年生の入所状況を推計することで、3年生以下に待機児童が生じる可能性のある小学校を優先して整備計画を立てている。※現在4～6年生に多くの待機児童が出ています。早急に全員が入所できる体制整備が求められています。

### 地域活動への支援の強化と充実を！

**質問** 地域活動に対し、活動内容に応じた必要な支援を、行政として速やかに実施する必要があると考えるが、見解は。

**回答** 市民活動サポートセンターを設置し、活動支援や、民間

事業者等が実施する助成金等に関する情報を提供している。

※コロナ禍で地域活動再開に奮闘している団体等に対し、行政として補助金の増額等で支援を強化していく必要があります。（物価高騰分補填）

### 部活動の「地域移行」に向けた受け皿づくりを！

**質問** 部活動の「地域移行」についてどのように検討が進められ、令和5年度は、どのような部活動を先行実施し、検証を進めていくのか。また、予算措置はどのように図られたのか。

**回答** 部活動等に関する検討会や教職員やスポーツ少年団等に調査を行い、結果を踏まえて意見をいただいていた。また、次年度からモデル事業として、合同部活動等を実施する予定である。また、教職員の負担を軽減することができるよう、方法や内容について、多角的に検討している。予算については、国、県の支援策等を注視していく。



# 2023年度当初予算の事業概要について

## ベビーファースト「推進事業」の主な事業 (21億5,462万円)

少子高齢化に歯止めが掛からず2022年3月全国のこどもの出生数が79万9,728人で、国の推計より11年早く80万人を割り、郡山市では2月1日現在の0歳児人口が1,911人と最小となりました。このまま低出生数で推移すれば、将来は大幅な人口減少から、社会全般及びあらゆる産業等の持続が困難となるおそれが生じます。国、県・市を挙げての少子化対策が最重要課題となります。

### 1. 団体等の活動支援

①おむつ交換台の整備に係る経費の補助「100万円」(1事業者当たり上限20万円) ②公共施設へおむつ交換台の設置560万円(500台程度) ③団体等の活動支援市内で開催される

子ども・子育てイベントに係る費用の補助150万円(1団体当たり50万円)

### 2. 結婚新生活支援事業

結婚した若者住居費や引っ越し費用の補助「6,400万円」(対象世帯220世帯・最大で30万円)

### 3. 低所得妊婦の初回産科料受診料支援

出産支援として経済的負担軽減を図るとともに必要な支援に繋げるため初回の産科受診料を助成します。「490万円」(住民税非課税世帯の妊婦、上限1万円)

### 4. ひとり親家庭のこどもへの生活・教育支援事業

無料で家庭教師を派遣し、基本的な生活、学習支援「1,027万円」 ①対象者(児童扶養手当受給世帯・中

学生、高校入学資格を有する方) ②募集人数(30名) ③支援内容(基本的な生活習慣の習得)(学習支援、7月から3月まで月4回、1回当たり2時間) ④中学校全学年の給食を全額公費負担

地域全体で子どもを育むまちの実現に向けて、教育費の負担が特におおきくなる中学生の給食を公費で補助し、子育て世帯の経済的負担軽減を図ります。

令和5年度、市全額負担 5億7,347万円

中学校給食を全額公費負担としていますが、「子どもファースト」を目指すのであれば小学校も公費負担にすべきと思います。

若者が結婚に踏み切れないのは、不安定雇用や低賃金などで結婚生活と子育てに自信がなく諦めている若者が少なくありません。根本的な要因の改良こそが重要と思われます。

## 3月議会で決まったこと みなさまの暮らしと市政に反映されます!

### (仮称) 歴史情報・公文書館の整備本格化へ 周辺道路の改良工事も実施

(仮称) 歴史情報・公文書館は、中央公民館前の駐車場に整備されます。令和6(2024)年度の開館を目指し、建設が本格化します。

○建設工事の内容は、建設主体工事(外構含む)電気・機械設備工事等で、概算工事費は31億7,987万円(年割額) 令和5年度24億8,756万円、令和6年度6億9,231万円。

○収蔵棚設置業務(債務負担行為) 内容: レール・収蔵棚設置 予算: 令和5年: 3,722万円 令和6年: 1億9,797万円

【道路工事】道路改良工事(224m程度)

○麓山一丁目10号線 令和5年度: 麓山地区立体駐車場東側 152m 令和6年度: (仮称) 歴史情報・公文書館北側 72m 予算: 3,177万円

### 道路におけるセーフコミュニティの推進 12億465万円

通学路等における事故防止の安全

対策や道路・側溝の改修をすることで、安全・安心な道路環境の向上を図り、セーフコミュニティの取り組みをより一層推進します。

①安全対策の更なる充実にカーブミラー視認性の向上。交差点のカラー舗装、区画線補修に1億4,000万円 ②通学路の継続的な安全対策の推進に歩道整備・用地測量等、施工箇所は(7校6箇所)。グリーンベルト・交差点カラー化等。(施工箇所16校17箇所) ③生活に身近な道路や水路側溝の整備に道路改良や現道舗装(施工箇所市内56箇所)及び水路側溝整備(市内143箇所)を行います。

### 米粉の普及促進に

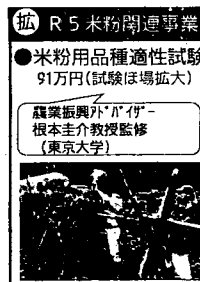
300万円

開発

米粉パン試作



米の新たな需要を喚起するため、



拡 R5 米粉関連事業  
●米粉用品種適性試験  
91万円(試験ほ場拡大)  
産業振興アドバイザー  
根本圭介教授監修  
(東京大学)

米粉を使った新たなレシピの開発や、米粉用品種の適正試験を実施します。また、米粉を市民により一層身近な食品として定着を図り、消費拡大を進めます。

### 子どもの居場所づくり活動を支援! 150万円

市内の子ども食堂を拠点とした子どもの居場所づくり活動を支援することで、子どもを見守り育むネットワークの形成を促進し、子どもの貧困対策を推進します。

#### 対象事業

郡山市子ども食堂ネットワークに登録している団体が行う次の事業

- ・フードパントリー
- ・フードバンク
- ・子ども宅食、配食などのアウトリーチ支援
- ・衣食住の生活支援(生理用品提供を含む)
- ・学習支援
- ・子ども食堂のない地域への出張子ども食堂

〈補助額〉10万円/団体

※立憲民主党郡山市は、子ども食堂等の安定した活動のため、今後も引き続き支援の充実に求めています。

# 常任委員会からのご報告

郡山市には4つの常任委員会があり、予算・条例などの議案や、請願などを専門的かつ効率的に審査をし、さまざまな政策実現に取り組んでいます。



## 総務財政常任委員会

**脱炭素化として、公共施設へ太陽光発電設備の導入が進みます** 総務財政常任委員 八重樫小代子

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、令和5(2023)年度は、公共施設へ太陽光発電設備を設置するための実施設計を5施設行います。総務財政常任委員会所管は(富久山行政センター・男女共同参画センター)です。令和5年度は、太陽光発電の業務委託で、現地調査などを行い、パネル設置は屋根か庭などを検討した後、設置年度が決まる予定です。



## 建設水道常任委員会

**水道料金等包括業務委託事業** 建設水道常任委員 柳田 尚一

官民連携の強化により業務委託範囲を拡大し、効果的・効率的な執行体制を確立するとともに、上下水道事業の経営基盤の安定化を図ります。既存の委託業務に給水装置関係業務を追加し、水道関係の窓口サービスを一元化する事でお客様サービスの向上を図るとしてありますが、市民の命の水を守る水道事業の基盤強化が第一義であり、技術の継承を追求することが市民サービスの向上につながると考えます。

## 文教福祉常任委員会

**無料低額診療事業に関する請願不採択!** 文教福祉常任委員 飯塚 裕一

昨年3月定例会では、医師会や薬剤師会等との合意形成が必要であるとのことから不採択となりました。その後提出者は、関係機関と意見交換を進めてきましたが、コロナ禍ということもあり、十分な合意を得るところまで至らず、請願の共同提出とはなりません。結果、今回も不採択となりました。今後、生活困窮者等が安心して医療が受けられるよう制度の改善が必要です。



## 環境経済常任委員会

**原発回帰を招くGX法案に関する請願不採択!**

この請願は「高経年化した原子炉の使用」、「原発の運転期間の実質延長」、「エネルギー安定確保、脱炭素のための原子力の使用」、「次世代革新炉の開発、建設」の撤回を求めたものです。残念ながら、本請願は賛成少数で不採択となりました。福島県は、原発の爆発・放射能漏れ事故により、未だ風評被害等の影響を受け続けています。新たな安全神話となるGX法案には、反対です。

## 立憲民主党郡山だより

## 市公共施設の有料化に反対!後期高齢者医療負担増反対!

私たち立憲民主党郡山会派はこれまで、**開成山公園、開成山地区体育施設の駐車場有料化**については、**反対**してきました。その理由は、開成山公園や開成山地区体育施設の駐車場が有料化となれば、市役所、ニコニコこども館や近隣公共施設、そして他の市公共施設の駐車場にまで波及することを懸念したからです。

今回3月定例市議会で提案された予算案では**市役所の駐車場**は、公用で来られる方たちは無料、**ニコニコこども館の駐車場**も窓口や健診等で来られる方たちは無料、但し、目的外の使用者は2時間までは無料であるが、それ以上は有料ということでした。立憲民主党郡山は、「市役所の駐車場は公用等で来所される市民には無料にすべき。郡山市は、子本主義というならば、ニコニコこども館の駐車場を無料にすべき。障がい者は無料にすべき。」と一般質問等で求めてきました。

また、**3月定例市議会の代表質問**では、昨年6月定例会で市政一般質問した「船橋市のように、徴収設備の導入経費が料金収入を上回るなど採算が取れない場合は、料金は無料にすべき。」と改めて求めました

が、答弁は得られませんでした。一方、「渋滞緩和策をとるべき。」との質問には、「委託業者が行う。」という答弁でした。

今後は、しっかりと注視し、市民の皆さんに不都合なことが発生した時には、改善を求めてまいります。

併せて、郡山市の他の公共施設における駐車場の有料化には、立憲民主党郡山会派として、これ以上市民の負担増とならないよう反対の立場で取り組んでまいります。

「**後期高齢者医療の保険料の引き下げ、75歳以上の一定所得の高齢者の窓口負担の2倍化中止を求める請願**」は、賛成少数で不採択でした。日本は、教育の公的支出の割合が国際的に低いだけでなく、高齢者に対する公的支出の割合も決して高いものではなく低い方となっています。窓口負担が2倍になる対象者は、生活に余裕のある人だけでなく、生活を切り詰めている高齢者も多く、高齢者の暮らし・いのち・健康を守るために、保険料の引き下げ、窓口負担の2倍化中止を緊急に行うべきであることから、請願に賛成しました。

**提言・ご意見をお寄せください。**

## 編集後記

令和5年度の本市の施策の中心は「ベビーファースト事業」です。これまで本市は、政策の中心に「子本主義」を掲げ、2022年7月に「ベビーファースト運動活動宣言」を行い、多角的な取り組みを進め、「地域ぐるみで子どもを安心して産み、育てられる郡山」の実現を目指してきました。


そこで2022年度末の出生数を調べると、1,978人ついに2,000人を割ってしまいました。4,000人を割ったのは1989年、3,000人は2011年、4,000人から3,000人は22年間、3,000人から2,000人は11年間と2倍のスピードで減少し、歯止めがかからない状況となっています。


今後当事者の意見に真摯に耳を傾け、危機的な状況の改善に向け、財政的支援も含め充実した対策を準備していく必要があります。

支出調書

会派名	代表者	経理責任者	起案者		
			柳田尚一 ㊟		
立憲民主党郡山					
区分	事由	費目・金額		小計	
1 調査研究費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		調査委託費		振込料	
2 研修費		会場費		講師謝金	
		出席者負担金・会費		交通費	
		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費	
		振込料			
3 広報費	立憲民主党郡山だより第8号印刷代	会場費		交通費	460,455
		自動車燃料費		資料作成費	
		広報誌(紙)	460,455	報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代	
		茶菓子代		振込料	
4 広聴費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		茶菓子代		振込料	
5 要請陳情活動費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
6 会議費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
7 資料作成費		印刷製本費		翻訳料	
		筆耕料		振込料	
8 資料購入費		法規追録代		参考図書代	
		新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	
		有料データベース等利用料		振込料	
9 人件費		賃金		社会保険料等	
		振込料			
10 事務所費		備品購入費		事務機器等リース代	
		消耗品等事務費		印刷代	
		振込料		配送手数料	
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等	
		自動車燃料費(按分)		その他	
支出年月日	2023年 5月 26日	現金出納簿 支出番号	8	合計	460,455

支出明細書兼支出証明書

支出番号  8

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	③ 広報費	4 広聴費		広報誌(紙) ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)		政務活動に伴う広報誌(紙)の発行			
内 容		郡山市議会立憲民主党郡山だより第8号印刷代			
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2023年5月26日	陽光社印刷(株)		460,455円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 共通 					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

## 領 収 書


No. 003999


立憲民主党郡山 殿


¥ 384,280 -

但し 郡山市議会立憲民主党郡山だより  
18号印刷代

令和5年5月25日 上記正に領収いたしました

内 訳	現金	✓	取扱者印 
	小切手		
	約手		
	振込		
	相殺		





**陽光社印刷株式会社**  
代表取締役  
社/福島市南大野町1丁目  
TEL 024(553)4001(代) 4024

金額訂正並に社印・取扱者印なきものは無効とする

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください

# 領収書

No. 004503

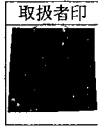
立憲民主党郡山 殿

¥ 77,561-

但し 郡山市議会立憲民主党郡山だより  
8号印刷

令和5年5月26日 上記正に領収いたしました

内 訳	現金	✓
	小切手	
	約手	
	振込	
	相殺	



陽光社印刷株式会社

代表取締役 佐藤 隆夫

本社 / 福島市両国野合字 1-26-803  
TEL (0245) 334000 FAX (024)

金額訂正並に社印・取扱者印なきものは無効とする

## 請求書

2023年 4月 20日

No00045576

立憲民主党郡山 様

(150209-00)



陽光社印刷株式会社

代表取締役 佐藤 隆夫

本社 / 福島市両国野合字 1-26-803  
TEL (0245) 334000 FAX (024)  
東京連絡所 / 東京都新宿区西町 1-26-803  
TEL (03) 3352-7873

ありがとうございます。下記の通りご請求申し上げます。

No.	品名	数量	単位	単価	金額	消費税等	摘要
3040034	郡山市議会 立憲民主党郡山だより 第8号 2023年4月23日発行	64,100	枚	6.55	419,855	41,986	
取引銀行 東邦銀行本店(普) 350139 福島銀行本店(普) 030451 福島信用金庫本店(普) 0105482 東北労働金庫福島支店(普) 3098115					税抜金額計	消費税等計	合計額
					419,855	41,986	461,841

広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$364 \text{ mm} \times 257 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 374,192 \text{ mm}^2 \dots i$$

2 対象外面積

$$\textcircled{1} (43 \text{ mm} \times 7 \text{ mm}) \times 2 \text{ か所} = 602 \text{ mm}^2$$

$$\textcircled{2} (43 \text{ mm} \times 5 \text{ mm}) \times 1 \text{ か所} = 215 \text{ mm}^2$$

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} = 817 \text{ mm}^2 \dots ii$$

3 按分割合

$$ii \div i \times 100 = \text{対象外按分率 } 0.3 \% \text{ (小数点第2切り上げ)}$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 461,841 \text{ 円} \times \text{対象外按分率 } 0.3 \% = 1,386 \text{ 円} \dots iii$$

(1円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 461,841 \text{ 円} - iii = \underline{\underline{\text{対象経費 } 460,455 \text{ 円}}}$$

# 立憲民主党郡山だより

〒970-0801 郡山市中野町1-1-1  
 TEL 024-924-2111  
 FAX 024-924-2110

## 3 3月市議会「議案」の特徴

# コロナ感染症対策の充実・少子高齢化に歯止めをかけ未来の郡山市を創ろう

新型コロナウイルス感染症対策の方針が改定され、マスク着用が3月から「個人の判断」に委ねられました。マスク着脱の判断として医療機関や高齢者施設、混雑した公共交通機関等ではこれまで同様マスク着用とし、自分と他人を守る役割を基本とします。また、感染症法上では、新型コロナウイルス感染症は「2類」の扱いとなっていました。5月8日から、インフルエンザと同じ「5類」に引き下げることとしました。

今後、感染した方の診療費や入院費は自己負担となり、診療を諦めてしまう感染者が「コロナ難民」となりかねず、また新たな変異株により9波が発生するかもしれません。自己責任には限界があります。治療薬の確立、医療の拡充を整備してからでも遅くはありません。

立憲民主党郡山市議団は、市民が安全・安心して暮らせる市政を目指してまいります。

### ベビーファースト（子本主義）実現型へ

3月定例会は2月17日開会、3月17日閉会の日程で開催されました。

3月定例会提出議案の概要は、令和4年度3月補正予算議案13件、同条例議案8件、同補正議案4件、同その他の議案6件であり、令和5年度当初予算議案30件、条例議案10件、その他の議案2件です。令和4年度3月補正後の一般会計は1,544億3,081万5千円、特別会計及び企業会計は1,044億7,038万6千円、合計2,589億120万1千円でした。令和5年度当初予算は1,340億円、特別会計（企業会計含む）1,041億4,912万6千円で、予算総額2,381億4,912万6千円でした。主な事業は、「ベビーファースト推進事業」、「DX推進・活用事業」等でした。

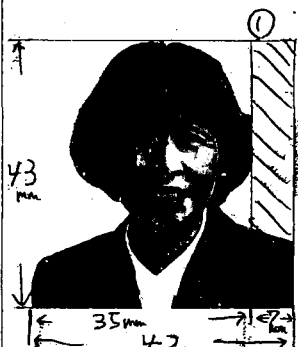
### 立憲民主党郡山・飯塚、八重樫議員登壇

立憲民主党郡山市議団は代表質問に八重樫小代子議員、市政一般質問に飯塚議員が登壇しました。八重樫小代子議員は、1. ベビーファースト推進について、2. 切れ目のない子育て支援について、3. 学校図書館について、4. 駐車場について、5. 放課後児童クラブについて、6. 新型コロナウイルス対策について。

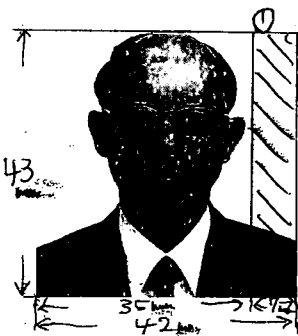
飯塚裕一議員は、1. 高齢者、交通弱者等に対する支援の充実について、2. 学校現場の働き方改革について、3. 子育て環境の充実・強化について、4. 地域活動への支援の充実について、当局を質しました。

### 開成山公園及び体育施設の駐車場有料化に反対！ 請願7件に賛成！

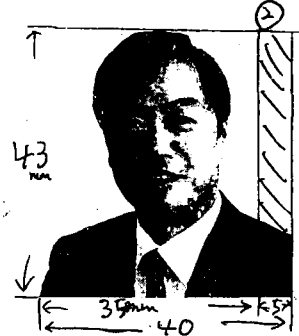
今定例会で提案された市役所・ニコニコ子ども館の駐車場は、目的外利用者以外は無料としましたが、開成山公園及び体育施設利用者との間に矛盾が生じており、当初予算について反対しました。請願7件については、「インボイス制度導入中止をもとめる意見書」、「国保の負担軽減」、「後期高齢者医療の保険料引き下げ」、「高齢者の乗り合いバス無料化」、「保険調剤薬局無料低額診療…」、「原発回帰のGX法案」、「最低賃金引き上げ」の請願と当初予算に柳田尚一議員が討論を行いました。最低賃金引き上げ以外は不採択となりました。詳細は3面、4面で報告します。



①  
 総務財政常任委員  
**八重樫小代子**（七期目）  
 立憲民主党郡山市議団会長  
 郡山市七ツ池町五一一六  
 TEL FAX 九二二一〇五一六



①  
 文教福祉常任委員  
**飯塚 裕一**（二期目）  
 立憲民主党郡山市議団幹事長  
 郡山市字菜根屋敷二二一六六  
 TEL FAX 九三二一九九七



②  
 建設水道常任委員  
**柳田 尚一**（二期目）  
 立憲民主党郡山市議団経理担当  
 郡山市達瀬町河内字屋敷一五七  
 TEL FAX 九五七三三三四

364

# 2023年度当初予算の事業概要について

## ベビーファースト「推進事業」の主な事業 (21億5,462万円)

少子高齢化に歯止めが掛からず2022年3月全国のこどもの出生数が79万9,728人で、国の推計より11年早く80万人を割り、郡山市では2月1日現在の0歳児人口が1,911人と最小となりました。このまま低出生数で推移すれば、将来は大幅な人口減少から、社会全般及びあらゆる産業等の持続が困難となるおそれが生じます。国、県・市を挙げての少子化対策が最重要課題となります。

### 1. 団体等の活動支援

①おむつ交換台の整備に係る経費の補助「100万円」(1事業者当たり上限20万円) ②公共施設へおむつ交換台の設置560万円(500台程度) ③団体等の活動支援市内で開催される

子ども・子育てイベントに係る費用の補助150万円(1団体当たり50万円)

### 2. 結婚新生活支援事業

結婚した若者住居費や引っ越し費用の補助「6,400万円」(対象世帯220世帯・最大で30万円)

### 3. 低所得妊婦の初回産科料受診料支援

出産支援として経済的負担軽減を図るとともに必要な支援に繋げるため初回の産科受診料を助成します。「490万円」(住民税非課税世帯の妊婦、上限1万円)

### 4. ひとり親家庭の子どもへの生活・教育支援事業

無料で家庭教師を派遣し、基本的な生活、学習支援「1,027万円」 ①対象者(児童扶養手当受給世帯・中

学生、高校入学資格を有する方) ②募集人数(30名) ③支援内容(基本的な生活習慣の習得)(学習支援、7月から3月まで月4回、1回当たり2時間) ④中学校全学年の給食を全額公費負担

地域全体で子どもを育むまちの実現に向けて、教育費の負担が特におおきくなる中学生の給食を公費で補助し、子育て世帯の経済的負担軽減を図ります。

令和5年度、市全額負担 5億7,347万円

中学校給食を全額公費負担としていますが、「子どもファースト」を目指すのであれば小学校も公費負担にすべきと思います。

若者が結婚に踏み切れないのは、不安定雇用や低賃金などで結婚生活と子育てに自信がなく諦めている若者が少なくありません。根本的な要因の改良こそが重要と思われま

## 3月議会で決まったこと

### みなさまの暮らしと市政に反映されます!

#### (仮称) 歴史情報・公文書館の整備本格化へ 周辺道路の改良工事も実施

(仮称) 歴史情報・公文書館は、中央公民館前の駐車場に整備されます。令和6(2024)年度の開館を目指し、建設が本格化します。

○建設工事の内容は、建設主体工事(外構含む) 電気・機械設備工事等で、概算工事費は31億7,987万円(年割額) 令和5年度24億8,756万円、令和6年度6億9,231万円。

○収蔵棚設置業務(債務負担行為) 内容: レール・収蔵棚設置 予算: 令和5年: 3,722万円 令和6年: 1億9,797万円

【道路工事】道路改良工事(224m程度)

○麓山一丁目10号線 令和5年度: 麓山地区立体駐車場東側 152m 令和6年度:(仮称) 歴史情報・公文書館北側 72m 予算: 3,177万円

#### 道路におけるセーフコミュニティの推進 12億465万円

通学路等における事故防止の安全

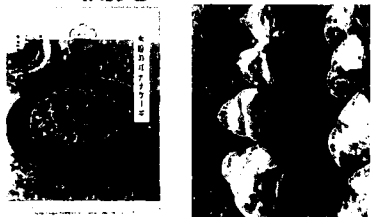
対策や道路・側溝の改修をすることで、安全・安心な道路環境の向上を図り、セーフコミュニティの取組みをより一層推進します。

①安全対策の更なる充実にカーブミラー視認性の向上。交差点のカラー舗装、区画線補修に1億4,000万円 ②通学路の継続的な安全対策の推進に歩道整備・用地測量等、施工箇所は(7校6箇所)。グリーンベルト・交差点カラー化等。(施工箇所16校17箇所) ③生活に身近な道路や水路側溝の整備に道路改良や現道舗装(施工箇所市内56箇所)及び水路側溝整備(市内143箇所)を行います。

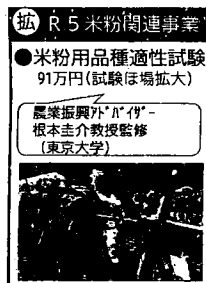
#### 米粉の普及促進に

300万円

#### いび°開発 米粉パソ試作



米の新たな需要を喚起するため、



米粉を使った新たなレシピの開発や、米粉用品種の適正試験を実施します。また、米粉を市民により一層身近な食品として定着を図り、消費拡大を進めます。

#### 子どもの居場所づくり活動を支援! 150万円

市内の子ども食堂を拠点とした子どもの居場所づくり活動を支援することで、子どもを見守り育むネットワークの形成を促進し、子どもの貧困対策を推進します。

#### 対象事業

郡山市子ども食堂ネットワークに登録している団体が行う次の事業

- ・フードパントリー
- ・フードバンク
- ・子ども宅食、配食などのアウトリーチ支援
- ・衣食住の生活支援(生理用品提供を含む)
- ・学習支援
- ・子ども食堂のない地域への出張子ども食堂

《補助額》10万円/団体

※立憲民主党郡山は、子ども食堂等の安定した活動のため、今後も引き続き支援の充実を求めています。



# 代表質問 市政について、立憲民主党郡山から質問しました。

質問者 **八重樫 小代子**

## 子どもの貧困対策は早急に具体化を！

**質問** 昨年7月に本市が独自に行った「子ども生活実態調査」の結果では、2020年厚生労働省算出の全国の「子どもの貧困率」13.5%に対し今回の郡山市調査では12.7%、本市貧困世帯の51.5%が二人親世帯、47.5%がひとり親世帯であった。1月31日に開催された、パネルディスカッション「子どもの貧困」を考える一のパネラーなどから、貧困対策として、予防、奨学金、賃上げ、社会保障、地域の居場所、就労支援、学習支援、食糧支援等が出たが、今後の支援策と、不十分な雇用問題等の取組みは。

**回答** 子どもの貧困は広く言えば子どもを育てるファミリーの貧困という側面もあり「ベビーファースト」「ベビーファミリーファースト」という考え方もありますので、そのような観点からどのような方策があるか研究し、最低賃金について

も、今の初任給の数字的な実態調査し、いろんな角度から民間雇用者をお願いすることと、行政、政府でやれることを多角的に検討します。

## 学校給食は小・中同じに無償化を！

**質問** 他自治体で無償化が進む中、本市の給食の全額公費負担予算案は、なぜ、中学生のみなのか、小学生は考えられなかったのか。中学生同様に小学生も、基金を取崩してでも全額公費負担とすべき。

**回答** 2022年12月に文部科学省が公表した「令和3年度子供の学習費調査」の結果では、教育費の負担は中学生が特に大きい現状にあることなどから、中学生の保護者の経済的負担軽減を図るために予算上程しました。今後も郡山市学校給食庁内研究会を継続するとともに、保護者、生産者などのお知恵をいただきながら、小学校給食費公費負担について検討を重ね、2024年度の予算に計上できるよう遅くとも年内にはその方向性を定めてまいります。

## ようやく始まるヤングケアラー支援は。

**質問** 福島県は、2月10日、昨年9～11月、学校で文書に回答する方法で実施したヤングケアラーに関する初めての实態調査結果（速報）を示し、小学5年生から高校3年生まで約11万9千人のうち10万2,371人が回答。約630人がヤングケアラーであると認識しており、県は新年度、支援策を充実させ、福島、郡山、いわきなど10市町と連携し、子どもが担っている家事を代行するサービスの提供を始めるとのことです。県の実態調査による本市の人数と家事代行サービスの実施内容は。

**回答** 本市の2万1,092人が回答したうち、自分自身がヤングケアラーであると認識している人数は、98人、約0.5%で、ヤングケアラーがいる家庭にヘルパー等が訪問し、ヤングケアラーが担っている家事や育児の代行支援等を行う事業で、国・県の補助金を財源にして来年度当初予算に計上しました。

# 一般質問 市政について、立憲民主党郡山から質問しました。

質問者 **飯塚 裕一**

## 高齢者、交通弱者等に対する支援の充実を！

**質問** 交通に関する高齢者等の支援について、他自治体への調査をいつ実施し、分析・評価をいつまでに完了させるのか。また、分析・評価をもとに効率的・効果的な支援のあり方について、どの部署がいつまでに立案し、具体的事業として具現化させていくのか。

**回答** 調査は、主に中核市を対象に公共交通の利用状況や新たなモビリティサービスの導入など、地域交通の実態及び高齢者の支援について調査を予定している。また、庁内関係部局と連携を図り、2023年度に調査に着手し、速やかに分析・評価していく。具現化については、各部局と連携、情報共有しながら精査を進め、既存事業を基本とし、要望に対して、施策の効果や持続性等も考慮しながら事業の検討が進めら

れるものと考えている。  
※速やかに調査・分析・評価を進め、他市町村に劣らない支援策の具現化を進めていく必要があります。

## 希望する児童が全員入所できる放課後児童クラブを！

**質問** 希望する児童が全員入所できる体制をどのように構築していくのか。

**回答** 新1年生の入所状況を推計することで、3年生以下に待機児童が生じる可能性のある小学校を優先して整備計画を立てている。※現在4～6年生に多くの待機児童が出ています。早急に全員が入所できる体制整備が求められています。

## 地域活動への支援の強化と充実を！

**質問** 地域活動に対し、活動内容に応じた必要な支援を、行政として速やかに実施する必要があると考えるが、見解は。

**回答** 市民活動サポートセンターを設置し、活動支援や、民間

事業者等が実施する助成金等に関する情報を提供している。  
※コロナ禍で地域活動再開に奮闘している団体等に対し、行政として補助金の増額等で支援を強化していく必要があります。（物価高騰分補填）

## 部活動の「地域移行」に向けた受け皿づくりを！

**質問** 部活動の「地域移行」についてどのように検討が進められ、令和5年度は、どのような部活動を先行実施し、検証を進めていくのか。また、予算措置はどのように図られたのか。

**回答** 部活動等に関する検討会や教職員やスポーツ少年団等に調査を行い、結果を踏まえて意見をいただいていた。また、次年度からモデル事業として、合同部活動等を実施する予定である。また、教職員の負担を軽減することができるよう、方法や内容について、多角的に検討している。予算については、国、県の支援策等を注視していく。

郡山市には4つの常任委員会があり、予算・条例などの議案や、請願などを専門的かつ効率的に審査をし、さまざまな政策実現に取り組んでいます。



## 総務財政常任委員会

**脱炭素化として、公共施設へ太陽光発電設備の導入が進みます** 総務財政常任委員 **八重樫小代子**

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、令和5(2023)年度は、公共施設へ太陽光発電設備を設置するための実施設計を5施設行います。総務財政常任委員会所管は(富久山行政センター・男女共同参画センター)です。令和5年度は、太陽光発電の業務委託で、現地調査などを行い、パネル設置は屋根か庭などを検討した後、設置年度が決まる予定です。



## 建設水道常任委員会

**水道料金等包括業務委託事業** 建設水道常任委員 **柳田 尚一**

官民連携の強化により業務委託範囲を拡大し、効果的・効率的な執行体制を確立するとともに、上下水道事業の経営基盤の安定化を図ります。既存の委託業務に給水装置関係業務を追加し、水道関係の窓口サービスを一元化する事でお客サービス向上を図っていますが、市民の命の水を守る水道事業の基盤強化が第一義であり、技術の継承を追求することが市民サービスの向上につながると考えます。



## 文教福祉常任委員会

**無料低額診療事業に関する請願不採択!** 文教福祉常任委員 **飯塚 裕一**

昨年3月定例会では、医師会や薬剤師会等との合意形成が必要であるとのことから不採択となりました。その後提出者は、関係機関と意見交換を進めてきましたが、コロナ禍ということもあり、十分な合意を得るところまで至らず、請願の共同提出とはなりません。結果、今回も不採択となりました。今後、生活困窮者等が安心して医療が受けられるよう制度の改善が必要です。



## 環境経済常任委員会

**原発回帰を招くGX法案に関する請願不採択!**

この請願は「高経年化した原子炉の使用」、「原発の運転期間の実質延長」、「エネルギー安定確保、脱炭素のための原子力の使用」、「次世代革新炉の開発、建設」の撤回を求めたものです。残念ながら、本請願は賛成少数で不採択となりました。福島県は、原発の爆発・放射能漏れ事故により、未だ風評被害等の影響を受け続けています。新たな安全神話となるGX法案には、反対です。

## 立憲民主党郡山だより 市公共施設の有料化に反対!後期高齢者医療負担増反対!

私たち立憲民主党郡山会派はこれまで、**開成山公園、開成山地区体育施設の駐車場有料化については、反対**してきました。その理由は、開成山公園や開成山地区体育施設の駐車場が有料化となれば、市役所、ニコニコ子ども館や近隣公共施設、そして他の市公共施設の駐車場にまで波及することを懸念したからです。

今回3月定例市議会で提案された予算案では**市役所の駐車場**は、公用で来られる方たちは無料、**ニコニコ子ども館の駐車場**も窓口や健診等で来られる方たちは無料、但し、目的外の使用者は2時間までは無料であるが、それ以上は有料ということでした。立憲民主党郡山は、「市役所の駐車場は公用等で来所される市民には無料にすべき。郡山市は、子本主義というならば、ニコニコ子ども館の駐車場を無料にすべき。障がい者は無料にすべき。」と一般質問等で求めてきました。

また、**3月定例市議会の代表質問**では、昨年6月定例会で市政一般質問した「船橋市のように、徴収設備の導入経費が料金収入を上回るなど採算が取れない場合は、料金は無料にすべき。」と改めて求めました

が、答弁は得られませんでした。一方、「渋滞緩和策をとるべき。」との質問には、「委託業者が行う。」という答弁でした。

今後は、しっかりと注視し、市民の皆さんに不都合なことが発生した時には、改善を求めてまいります。

併せて、郡山市の他の公共施設における駐車場の有料化には、立憲民主党郡山会派として、これ以上市民の負担増とならないよう反対の立場で取り組んでまいります。

**「後期高齢者医療の保険料の引き下げ、75歳以上の一定所得の高齢者の窓口負担の2倍化中止を求める請願」**は、賛成少数で不採択でした。日本は、教育の公的支出の割合が国際的に低いだけでなく、高齢者に対する公的支出の割合も決して高いものではなく低い方となっています。窓口負担が2倍になる対象者は、生活に余裕のある人だけでなく、生活を切り詰めている高齢者も多く、高齢者の暮らし・いのち・健康を守るために、保険料の引き下げ、窓口負担の2倍化中止を緊急に行うべきであることから、請願に賛成しました。

**提言・ご意見をお寄せください。**

## 編集後記

令和5年度の本市の施策の中心は「ベビーファースト事業」です。これまで本市は、政策の中心に「子本主義」を掲げ、2022年7月に「ベビーファースト運動活動宣言」を行い、多角的な取り組みを進め、「地域ぐるみで子どもを安心して産み、育てられる郡山」の実現を目指してきました。

そこで2022年度末の出生数を調べると、1,978人とついに2,000人を割ってしまいました。4,000人を割ったのは1989年、3,000人は2011年、4,000人から3,000人は22年間、3,000人から2,000人は11年間と2倍のスピードで減少し、歯止めがかからない状況となっています。

今後当事者の意見に真摯に耳を傾け、危機的な状況の改善に向け、財政的支援も含め充実した対策を準備していく必要があります。

# 支 出 調 書

会派名	代表者	経理責任者	起案者		
			立憲民主党郡山	柳田尚	
区 分	事 由	費 目 ・ 金 額			小 計
1 調査研究費	交通費		旅費		
	自動車燃料費		資料作成費		
	調査委託費		振込料		
2 研修費	会場費		講師謝金		
	出席者負担金・会費		交通費		
	旅費		自動車燃料費		
	資料作成費		食糧費		
	振込料				
3 広報費	会場費		交通費		
	自動車燃料費		資料作成費		
	広報誌（紙）		報告書等印刷費		
	送料（折込料含む）		ウェブページ掲載代		
	茶菓子代		振込料		
4 広聴費	会場費		交通費		
	自動車燃料費		資料作成費		
	茶菓子代		振込料		
5 要請・陳情活動費	交通費		旅費		
	自動車燃料費		資料作成費		
	振込料				
6 会議費	会場費		交通費		
	自動車燃料費		資料作成費		
	振込料				
7 資料作成費	印刷製本費		翻訳料		
	筆耕料		振込料		
8 資料購入費	法規追録代		参考図書代		
	D-file2023年5月発行号（4月号） 上・下		新聞（日刊紙）購読料	4,950	4,950
			雑誌等購読料		
9 人件費	賃金		社会保険料等		
	振込料				
10 事務所費	備品購入費		事務機器等リース代		
	消耗品等事務費		印刷代		
	振込料		配送手数料		
11 通信運搬・自動車燃料費	電話料等（按分）		郵便料等		
	自動車燃料費（按分）		その他		
支出年月日	2023年 6月 19日	現金出納簿 支出番号	9	合 計	4,950

支出明細書兼支出証明書

支出番号 9

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		雑誌等購読料
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費	○	
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 (支出事由)					※該当する支出費目を記入
調査研究に係る雑誌購読料					
内 容					
D-file 2023年5月発行号（4月号）上・下					
支出年月日		支 出 先		支 出 金 額	
2023年6月19日		イマジン出版株式会社		4,950円	
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	共通
					印

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄		振替払込請求書兼受領証		
記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。	口座記号番号	0 0 1 0 0	6	
	加入者番号	3 4 7 4 9		
	加入者名	イマジン出版株式会社		
	金額	千 百 十 万 千 百 十 円	¥ 4 9 5 0	
	ご依頼人	福島県郡山市朝日1-23-7 郡山市議会 立憲民主党郡山 様		様
	料金	日 附 印	05-06-19 T501000111 2730 ヲウチヨ 料金 110円 内税10%10円 N94180011	
備考	現金扱 (82445)			

この受領証は、大切に保管してください。

9 ※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください

立憲民主党郡山 様

11790

下記の通り納品致します。

¥4,950



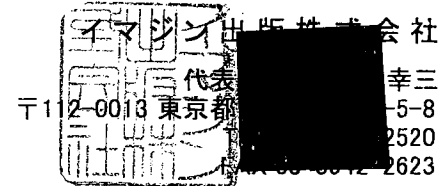
行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2023年5月発行号(4月号) 上・下	2	2,475	4,950
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要		合計	2	4,950

立憲民主党郡山 様

11790

下記の通り御請求申し上げます。

¥4,950



行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2023年5月発行号(4月号) 上・下	2	2,475	4,950
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要		合計	2	4,950

支出調書

会派名	代表者	経理責任者	起案者		
			柳田尚		
立憲民主党郡山					
区分	事由	費目金額			小計
1 調査研究費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		調査委託費		振込料	
2 研修費		会場費		講師謝金	
		出席者負担金・会費		交通費	
		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費	
		振込料			
3 広報費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代	
		茶菓子代		振込料	
4 広聴費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		茶菓子代		振込料	
5 要請・陳情活動費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
6 会議費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
7 資料作成費		印刷製本費		翻訳料	
		筆耕料		振込料	
8 資料購入費	D-file2023年6月発行号(5月号)上・下BeaconVol. 94(夏号)	法規追録代		参考図書代	6,050
		新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	
		有料データベース等利用料		振込料	
9 人件費		賃金		社会保険料等	
		振込料			
10 事務所費		備品購入費		事務機器等リース代	
		消耗品等事務費		印刷代	
		振込料		配送手数料	
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等	
		自動車燃料費(按分)		その他	
支出年月日	2023年 6月 27日	現金出納簿 支出番号	10	合計	6,050

支出明細書兼支出証明書

支出番号 10

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		雑誌購読料 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	⑧ 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)		調査研究に係る雑誌購読料			
内 容		D-file2023年6月発行号(5月号)上・下 BeaconVol,94(夏号)			
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2023年6月27日	イマジン出版株式会社		6,050円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 共通 ⑨					

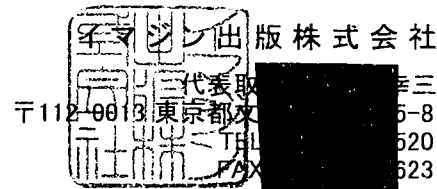
領収書及び料金内訳明細書等貼付欄  記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。	振替払込請求書兼受領証			
	口座記号番号	* 0 0 1 0 0 6		
		* 3 4 7 4 9		
	加入者名	* イマジン出版株式会社		
	金額	千 百 十 万 千 百 十 円 * ¥ 6 0 5 0		
	ご依頼人	* 福島県郡山市朝日1-23-7 郡山市議会 立憲民主党郡山 様		
	料金	日 附 印 05-06-27 T501000111 2730 ヲチヨ 現金扱 料金 110円 内税10%10円 (82445) N94150001		
	備考	この受領証は、大切に保管してください。		
	※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないよう貼付してください			

立憲民主党郡山 様

11790

下記の通り納品致します。

¥6,050



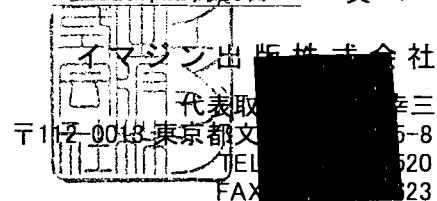
行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2023年6月発行号(5月号) 上・下	2	2,475	4,950
2	Beacon Vol.94(夏号)	1	1,100	1,100
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要		合 計	3	6,050

立憲民主党郡山 様

11790

下記の通り御請求申し上げます。


¥6,050



行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2023年6月発行号(5月号) 上・下	2	2,475	4,950
2	Beacon Vol.94(夏号)	1	1,100	1,100
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要		合 計	3	6,050



# 支出調書

会派名	代表者	経理責任者	起案者		
			柳田尚一		
立憲民主党郡山					
区分	事由	費目・金額			小計
1 調査研究費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		調査委託費		振込料	
2 研修費		会場費		講師謝金	
		出席者負担金・会費		交通費	
		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費	
		振込料			
3 広報費	立憲民主党郡山だより第9号印刷代	会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		広報誌(紙)	460,455	報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代	
		茶菓子代		振込料	
4 広聴費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		茶菓子代		振込料	
5 要請・陳情活動費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
6 会議費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
7 資料作成費		印刷製本費		翻訳料	
		筆耕料		振込料	
8 資料購入費		法規追録代		参考図書代	
		新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	
		有料データベース等利用料		振込料	
9 人件費		賃金		社会保険料等	
		振込料			
10 事務所費		備品購入費		事務機器等リース代	
		消耗品等事務費		印刷代	
		振込料		配送手数料	
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等	
		自動車燃料費(按分)		その他	
支出年月日	2023年 8月 29日	現金出納簿 支出番号		合計	460,455

支出明細書兼支出証明書

支出番号



区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	③ 広報費	4 広聴費		広報誌(紙)
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)					※該当する支出費目を記入
政務活動に伴う広報誌(紙)の発行					
内 容					
郡山市議会立憲民主党郡山だより第9号印刷代					
支出年月日	支 出 先			支 出 金 額	
2023年8月29日	陽光社印刷(株)			460,455円	
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	共通 <span style="float:right">㊟</span>

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 書

No.004528

立憲・民主党郡山 殿

¥ 461,841-

但し 郡山市議会立憲民主党郡山だより  
第9号印刷代

令和5年8月29日 上記正に領収いたしました

内 訳	現金	✓
	小切手	
	約手	
	振込	
	相殺	



陽光社印刷株式会社

代表取締役 榎本 光

本社 福島市南大野町字新目  
TEL:024-563-4000(代) 本支店

金額訂正並に社印・取扱者印なきものは無効とする

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

請 求 書

2023年 7月 20日

No00046701

立憲民主党郡山 様

(150209-00)



陽光印刷株式会社

代表取締役

本社 / 福島県郡山市  
TEL: 024-553-4600 FAX: 024-553-4601

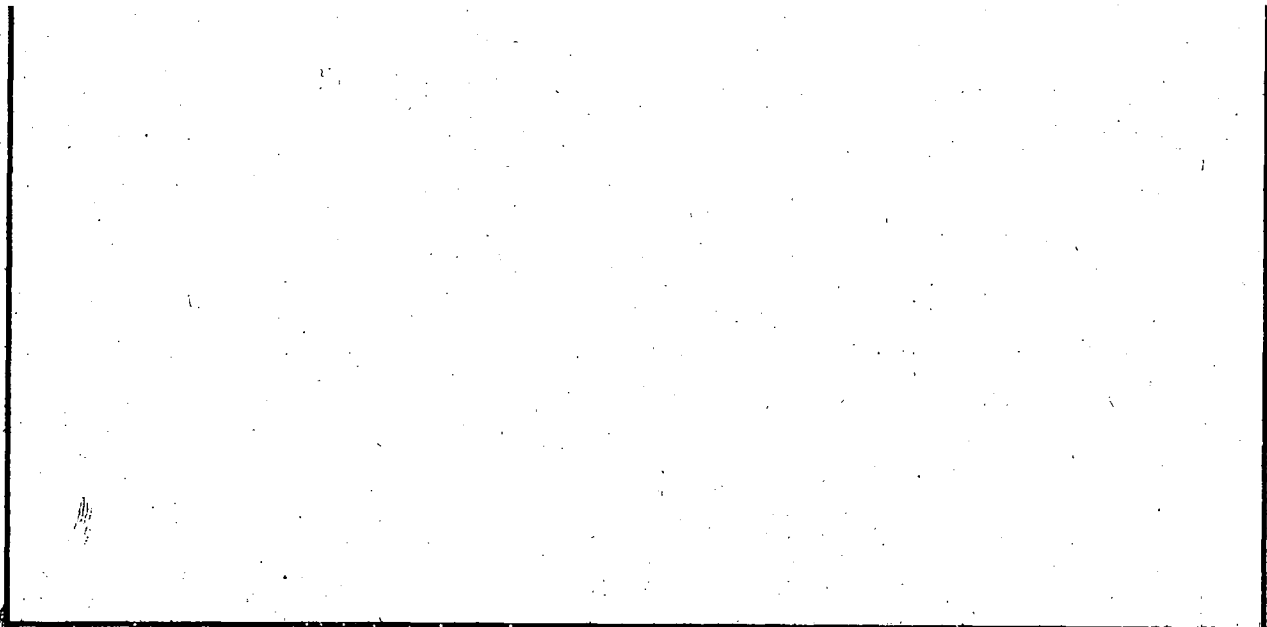
毎度ありがとうございます。下記の通りご請求申し上げます。

No.	品 名	数量	単位	単 価	金 額	消費税等	摘 要
23070028	郡山市議会 立憲民主党郡山だより 第9号 2023年7月23日発行	64,100	枚	6.55	419,855	41,986	

取引銀行 東邦銀行本店(普) 350139  
 福島銀行本店(普) 030451  
 福島信用金庫本店(普) 0105482  
 東北労働金庫福島支店(普) 3098115

税抜金額計	消費税等計	合計額
419,855	41,986	461,841

担



広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$364 \text{ mm} \times 257 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 374,192 \text{ mm}^2 \dots i$$

2 対象外面積

$$\textcircled{1} (43 \text{ mm} \times 7 \text{ mm}) \times 2 \text{ か所} = 602 \text{ mm}^2$$

$$\textcircled{2} (43 \text{ mm} \times 5 \text{ mm}) \times 1 \text{ か所} = 215 \text{ mm}^2$$

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} = 817 \text{ mm}^2 \dots ii$$

3 按分割合

$$ii \div i \times 100 = \text{対象外按分率 } 0.3 \% \text{ (小数点第2切り上げ)}$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 461,841 \text{ 円} \times \text{対象外按分率 } 0.3 \% = 1,386 \text{ 円} \dots iii$$

(1円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 461,841 \text{ 円} - iii = \underline{\underline{\text{対象経費 } 460,455 \text{ 円}}}$$

# 立憲民主党郡山だより

6月定例会「議案」の特徴

## 物価高騰、ポストコロナへの対策を整え 市民の安全・安心な生活を創ろう!

新型コロナウイルス感染症に対する扱いが5月8日より「2類」から「5類」に引き下げられ、現在様々な経済活動や集会活動などが再開されるなど、日常が戻りつつあります。しかし、感染状況はピーク時に比べて下がってはいるものの、収束している訳ではなく、第9波の到来も危惧されています。今後も重症化予防や発症予防のため、ワクチン接種体制の維持や、医療機関への支援を継続していく必要があります。

立憲民主党郡山市議団は、ウクライナに一日も早い平和が訪れることを祈念するとともに、市民の安全で安心な郡山を創るため、全力で活動を進めてまいります。

### ポストコロナ、住民サービスの向上を!

6月定例会は、6月15日開会、30日閉会の日程で開催されました。

提出された議案は、予算議案2件、条例議案9件、その他議案18件の計29件でした。一般会計補正予算案は、48億8,456万円、特別会計予算案は、8億4,539万円、合計57億2,995万円となりました。

補正予算案として、「地域公共交通事業者・運送業者等への支援」、「新型コロナウイルスワクチンの接種体制の確保」、「(仮称)歴史情報・公文書館の展示システム・展示品の整備」、「こども家庭センターの開設」、「野菜安定生産のための支援」などの議案が提出され、全ての議案が可決されました。

### 立憲民主党郡山、柳田、八重樫議員登壇

柳田議員は、1. 本市の農業振興と食料自給率の向上について、2. 少子化、人口減少対策について、3. マイナンバーカードの普及について、4. 町内会の活性化と敬老祝賀会開催について、5. 郡山市立河内小学校夏出分校について、八重樫議員は、1. 気候変動について、2. 学校図書館の充実について、3. 地域防災計画について、4. 子育て支援について、5. 介護問題について、当局に質問しました。特に柳田議員は、ロシアのウクライナ侵攻により、世界の食糧供給が混乱に陥っていることを指摘し、今後どのように食糧自給率の向上を図っていくのか、ま

た、農家への肥料購買への助成について質しました。八重樫議員は、本年4月より会計年度任用職員となった学校司書について、文科省の配置基準である1.3校に1人を、いつまでに実現するのか、また、現在ブロック配置されているリーダーを正規職員として計画的に雇用することなどについて、当局を質しました。質問の詳細は、2面をご覧ください。

### 地方財政・被災児童生徒支援関係請願採択!

郡山地区連合より提出された「地方財政の充実・強化を求める」請願、並びに福島県教職員組合より提出された「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める」請願は、委員会・本会議とも全会一致で採択され、国に意見書を提出することになりました。

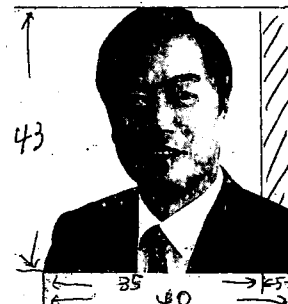
去る4月28日に、臨時会が開催され、小学生の学校給食費を全額公費負担をすることが決まりました。この財源は、国の臨時交付金であり、単年度の財源です。今後一般会計で手当てするなど、継続的に実施できるよう議会で求めてまいります。



総務財政常任委員  
八重樫小代子(七期目)  
立憲民主党郡山市議団会長  
郡山市七ッ池町五一一六  
TEL/FAX 九二二一〇五六



文教福祉常任委員  
飯塚 裕一(二期目)  
立憲民主党郡山市議団幹事長  
郡山市字桑根屋敷二二一六六  
TEL/FAX 九三三一一九九七



建設水道常任委員  
柳田 尚一(二期目)  
立憲民主党郡山市議団総務担当  
郡山市逢瀬町河内字屋敷一五七七  
TEL/FAX 九五七一一三二四

364 m

## 一般質問 市政について、立憲民主党郡山から質問しました。

質問者 柳田 尚一

### 農業振興と食糧自給率向上を図るべき！

**質問** ロシアによるウクライナ侵攻や急激な気候変動で世界の食糧供給は極めて深刻であり日本のカロリーベースの食料自給率は2020年の時点で、37%という低水準にあります。また、化学肥料の価格高騰が農家にとって大変な打撃となっており、今後の農業振興・食糧自給率向上と化学肥料購買への助成は。

**回答** 農業の安定化を図るため、農商工連携、6次化、産学官連携のもと、農業法人を含めた個別生産性を高めていくため、農業法人化、新規就農支援、農業DXなどを推進し農業振興に努め食料自給率の向上に努めてまいります。化学肥料購買への助成は2022年6月から2023年5月までに購入した肥料の価格上昇分について、国、県から合計85%を支援しております。今後におきま

しても価格動向を注視して柔軟な対応をしてまいります。

### 少子化対策に奨学金拡充を！

**質問** 少子化の要因の一つとして、家計負担の上位となっている教育費対策として、他市は大学生まで対象としている。本市も大学生まで奨学資金の拡充を！

**回答** 大学生向けの経済支援策につきましては、日本学生支援機構が窓口になり2020年4月から開始した高等教育の修学支援新制度や、民間団体、大学独自の奨学金制度など多様な支援が図られています。これまで通り、篤志家の意向に沿いながら高校生までとします。

### 敬老祝賀会開催について

**質問** 今年度の敬老祝賀会は市がかわらず各地域の自主性に任せるとしていますが、市からの助成金もなく地域での独自開始は大変厳しいと思います。市は今年度の状況をどの様に考えているのか伺います。また、

来年度からの開催について伺います。

**回答** コロナウイルスの影響により中止した期間を除くと、2019年度が直近の開催であり、参加率は約20%と低迷しております。また、実行委員会自身が高齢化し負担が大きいとの意見がでています。これらの状況を踏まえ今後の敬老会について現行の方式を終了していきたいと考えております。しかし、開催経費の助成について、強い要望があるため激減緩和の必要性を踏まえ検討させていただきます。さらに、本年度の各地区の開催状況を踏まえ引き続き検討してまいります。

### 夏出分校の利活用について

**質問** 充実した校舎を地域住民の社会福祉や健康増進に向け、社会開放すべきと考えます。

**回答** 夏出分校は現在教育関係や選挙関係等の行政備品の保管庫として使用しており、今後も保管庫として使用してまいります。なお、校庭は柔軟に対応していきます。

## 一般質問 市政について、立憲民主党郡山から質問しました。

質問者 八重樫 小代子

### 学校給食は継続して無償化を！

**質問** 単発、短期での学校給食費の無償化では、保護者は不安ではありません。国へ学校給食法の改正や財源などについて要望するなど、来年度以降の実現に向けた当局の方針は。

**回答** 来年度以降については、国の財政支援等の状況を踏まえながら、2024年度の予算に計上できるよう、関係部局と総合的に検討しているところです。なお、学校給食調理提供に関するソフト面のほか、中学校給食センターの再整備等、ハード面でも経常コスト縮減に向けた調査研究を進めているところです。

### 国民年金で入所できる介護施設を！

**質問** 令和5年4月1日現在で、本市の特別養護老人ホームの入所待機者は1,195人となっていますが、国民年金を満額支給（令和5年度

66,250円）されている方が、入所できる施設の状況と、その現状は。

**回答** 特別養護老人ホームの入所待機者の市内待機者は、1,195人で、原則入所が可能な要介護3以上で、早期入所希望の在宅の方は277人です。現在策定を進めております第九次介護保険事業計画において、本年7月に提示される予定の国の第9期介護保険事業計画の基本指針案や、本市における介護保険サービス見込量等の将来推計、利用者や事業者を実施した調査等をもとに検討します。

### 小中学校体育館の空調(冷房)整備を

**質問** 屋内運動場の補助割合は、1/2（令和7年度まで）」と明記されています。本市の市立小中学校体育館は、空調（冷暖房設備）整備はゼロです。毎年、熱中症警戒アラートも発表されている状況でもありますし、学校教育はもちろん、地域への活動開放、災害時の避難所としても早急に整備すべき。

**回答** 全国の小中学校体育館は、エアコン整備率が11.9%、県内では、1.7%と低水準です。改修内容にもよりますが、一施設当たり約1億の改修費用とランニングコストを要するためです。当面は、体育館の窓や出入口を全開し、大型扇風機により換気を良くしながら運用しますが、大規模な改修をすることなく導入している自治体もあることから、多角的に研究してまいります。

### 学校図書館学校司書の正規化は。

**質問** 全市立小中学校を東西南北中の5つのブロックに分け、各ブロックの小中学校の学校司書からの相談を受けやすくするためにリーダーを置いていますが、将来的に、まずはリーダーを正規職員として計画的に雇用するよう、令和8年度までに検討すべき。

**回答** 各方部内での相談役、まとめ役、学校教育推進課へのつなぎ役をして頂いています。今後は、現在の体制を継続しながら、相互支援体制等の充実に努めてまいります。

# 6月議会で決まったこと

## みなさまの暮らしと市政に反映されます！

### 施設の指定管理者を更新 8施設新規導入へ 123億4,035万円

2024年3月末で満了を迎える指定管理者制度導入施設の指定更新と新規導入によりPPP（官民連携）を推進し、民間事業者のノウハウ等を活用し、市民サービスの更なる向上を図るとの提案がされました。

内訳は、更新施設61、債務負担行為額119億3,711万円（労働福祉会館施設、総合福祉センター等福祉施設、子育て支援センター等子育て施設、ユラックス熱海等コンベンション施設、市民文化センター等文化施設、カルチャーパーク等公園施設等）。新規施設8、4億324万円（浄土松公園、待池公園、庭球場、東部体育館・スポーツ広場、東部森林公園等）。なお、新たな指定管理者による運営開始は、令和6年（2024）年4月からで、指定期間は3～5年間となっています。

※PPP（官民連携）の名の下、指定管理施設が増加しています。このところ、指定管理がグルーピングされ、指定管理料が削減されています。そこで働く人たちの賃金に影響が出ないことを強く望みます。また、施設の使い勝手を良いものにするために、障がい者や高齢者など、当事者の声をよく取り入れてほしいとの声が、立憲民主党郡山会派に寄せられています。

### 地域公共交通事業者・運送事業者等への支援 臨時交付金 8,535万円

地域公共交通事業者の通行維持、運送事業者の地域物流確保に向け、原油価格・物価高騰に対する支援のほか、省エネ対策に資する整備、コスト削減・業務効率化などの投資的経費に対する支援を行います。要件は（一般旅客自動車運送事業者、一般貨物自動車運送業者、特定貨物自動車運送業者、貨物軽自動車運送業者、公安委員会の認定を受けた自動車運転代行業を行う事業者）でさらに市内に本社又営業所がある事業者で登録・保管場所が市内であることが証明で

きる車両を対象としています。

業種・車種	1台あたり 支援額	車両台数	支援額 (予算額)
路線バス (高速バス含む)	7万円	150台	1,050万円
タクシー	2万円	575台	1,150万円
貸切バス	5万円	180台	900万円
トラック (緑ナンバー)	1万円	5,330台	5,330万円
軽貨物 (黒ナンバー)			
運転代行業	7,500円	140台	105万円

### 新型コロナウイルスワクチンの 接種体確保に！ 10億5,635万円

新型コロナウイルス感染症の重症化予防及び発症予防を目的として、ワクチン接種体制を確保し、2024年3月末まで接種を実施することが決まりました。

#### 《対象者》

1・2回目接種を終了した方のうち  
☆春開始接種（8月31日まで）

65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する方、医療従事者等  
(107,000人)

☆秋開始接種（9月以降）

5歳以上のすべての方  
(317,000人)

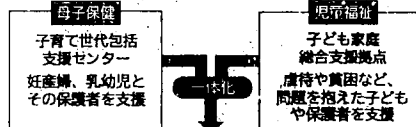


### こども家庭センター--開設に！ 1,620万円

児童福祉法に基づく「こども家庭センター」の開設に向け、ニコニコ子ども館の整備を進めることが決まりました。

#### 《設置が努力義務化》

◆「こども家庭センター」のイメージ



◎ニコニコ子ども館内部を改修

・こども家庭未来課→2階

・こども家庭支援課→3階  
※一体型相談窓口を開設

### 海外からの観光誘客・輸出 促進プロモーションの強化 2,882万円

地域産品の輸出促進及びインバウンド観光拡大のため、こおりやま広域圏・農商工等連携により海外プロモーション活動を強化する。

- 1、◎アジア誘客モニターツアー事業（台湾・タイ・ベトナムへ誘客プロモーションを実施）◎外国人誘客用ガイドブック作成
- 2、海外販路開拓等支援補助金 ◎海外での物産展、商談会への出展等に要する経費を支援
- 3、海外観光誘客プロモーション事業(台湾)◎日本東北遊楽日(台北)への出展
- 4、輸出促進プロモーション事業(ベトナム)◎現地（ホーチミン）への出展、◎為替変動・輸出対策研究会など  
連携団体はJAさくら、JETRO福島、JICA、現地事業者などとなります。

### 新事業開発プロジェクトと 再エネ導入を実証実験 2,019万円

企業版ふるさと納税（河村電器産業株式会社）を活用し、産学官連携による新事業創出と人材育成を図る。また、戦略的な企業誘致を図るため、西部第一工業団地への再生可能エネルギー導入に向けた調査事業を実施します。

- 事業概要として地元企業、市職員、学生等から10名ほど公募し、構想立案に必要なスキルを習得する。
- 異なる立場の参加者により多様な視点で考える。
- ビジネスモデルを検討した上で新事業を取りまとめ地域再生計画の実現を目指す。

西部第一工業団地への再エネ導入調査事業として、産総研・郡山市・事業者が営農太陽光発電の実証連携協定を結び、発電事業と農作物に与える影響の調査を進めます。

郡山市には4つの常任委員会があり、予算・条例などの議案や、請願などを専門的かつ効率的に審査をし、さまざまな政策実現に取り組んでいます。



## 総務財政常任委員会

### 郡山市国民健康保険特別会計 税率本算定について 総務財政常任委員 八重樫小代子

国保加入世帯数は40,693世帯で約69%が所得200万円未満、所得43万円未満世帯が全体の約32%。所得割・平均割の軽減対象世帯数は23,383世帯で全体の約57%、約97%が3人以下世帯、単身世帯が全体の約64%です。今回、後期高齢者支援金分の課税限度額が20万円→22万円、668世帯、全体の約1.6%が上がります。税額が下がる世帯が227世帯です。我党派も資産割の廃止や軽減策を求めてきました。今後も求めてまいります。



## 建設水道常任委員会

### 建設水道常任委員 柳田 尚一

令和4年度のPDCAサイクル事業選定の五百淵公園里山再生事業について、事業評価として現地視察してまいりました。森林整備における機械、資材等の搬入・搬出作業道の整備、整備区域2.5ヘクタールのうち1ヘクタールの間伐、間伐した樹木チップ材の歩道への敷き詰め作業など、自然に戻す施策が進められ、今後、市民の憩いの公園となります。



## 文教福祉常任委員会

### 更生園の今後のあり方について 文教福祉常任委員 飯塚 裕一

更生園は、昭和45年に障害福祉サービス事業所として建設され、現在生活介護、日中一時支援のサービスなどを提供しています。施設の老朽化に伴い立替を行う必要があり、民間活力利用に向けた可能性調査が行われました。今後、調査結果を基にした整備計画が示されることとなりますが、利用者ニーズに応じた充実したサービスが提供されるのか内容等を精査してまいります。



## 環境経済常任委員会

### こおりやま園芸産地づくり支援事業

JAギガ団地構想に位置付けられた「夏秋キュウリ」の施設、輸出を見据えた「サツマイモ」の機械等を導入して、産地化に取り組む営農集団を支援します。キュウリ産地支援としてパイプハウスなどの経費、サツマイモ支援として収穫機、つる切り機などの導入となります。キュウリの需要拡大やサツマイモの東南アジア向け輸出が増加傾向にあり更なる需要拡大が農業振興へと繋がります。

## 立憲民主党郡山だより 「地方財政の充実・強化」、「被災児童生徒支援等事業」継続の請願採択!

本定例会には、福島県連合より「地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書」、福島県教職員組合より「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書が提出され、いずれも全会一致で採択されました。請願の内容は、以下の通りです。

### 《地方財政の充実・強化を求める請願》

現在地方公共団体は、急激な少子・高齢化の進展に伴う子育て、医療・介護など社会保障制度の整備、人口減少下における地域活性化対策、脱炭素化をめざした環境対策、度重なる自然災害に対する防災・減災や災害復旧の取り組み、さらに行政のデジタル化の推進など、極めて多岐にわたる役割を求められています。しかし、現実には地域公共サービスを担う人材が不足しているだけでなく、急激な物価高騰で急増する多様な社会保障ニーズへの対応など、新しい課題も次々と出てきています。地方自治体がこれらの増大する課題に対応するには、行政需要に見合った国の財政支援が不可欠です。私たちは、本請願の紹介議員となり各会派を回り、請願の採択に向け積極的に取り組みを進めました。

### 《被災児童生徒支援等事業に関する請願》

東日本大震災から12年が過ぎましたが、未だ福島県には令和4年4月1日時点で約4,900人もの子どもが県内外で避難生活を送っています。今なお経済的な支援を必要とする子どもたちは多く、就学等のためには長期的な支援が欠かせません。国は、東日本大震災で被災し経済的理由により就学等が困難な子どもを支援するため、単年度の交付事業として被災児童生徒就学支援等事業を全額国庫負担で行ってきました。令和5年度も約8億円が計上され、小学生に対する学用品等の援助、高校生に対する奨学金支援等が実施され、被災した子どもたちが学びを続けていくための極めて有効な事業として機能しています。

しかし、この事業に係る予算措置は単年度のため、事業が終了、縮小することになると、自治体の負担となることが危惧され、今後も充実した支援を続けていくには、国の財政的支援は欠かせません。従って、本請願に対しても採択に向け各会派を回り、紹介議員の獲得に積極的に取り組みました。

提言・ご意見をお寄せください。

## 編集後記

郡山市議会6月定例会は、6月15日開会し、同月30日に閉会しました。2019年9月から4年間の任期の議会が終了致しました。

この4年間は、令和元年東日本台風、度重なる地震、新型コロナウイルス感染症、物価の高騰など深刻な問題が続きました。私たち立憲民主党郡山は、3人の市議会会派として、これらの問題解決に向け、市民の皆さまの声を大切に、仲間たちと勉強会を重ねながら、市議会で質問、発言して参りました。少子化や若者・子どもの貧困、ヤングケアラーや老々介護・シングル介護などによる介護者の負担解消、学校教育の充実、働き方改革、雇用対策、防災・減災・災害への備え、農業支援など追及してきました。

立憲民主党郡山は、「人と環境、くらしを大切に市政」に向け、今後も市議団3人で力を合わせ取り組んで参る所存です。



# 支出調書

会派名	代表者	経理責任者	起案者		
			柳田尚		
立憲民主党郡山					
区分	事由	費目・金額			小計
1 調査研究費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		調査委託費		振込料	
2 研修費		会場費		講師謝金	
		出席者負担金・会費		交通費	
		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費	
		振込料			
3 広報費	郡山市議会立憲民主党郡山だより 第9号	会場費		交通費	311,655
		自動車燃料費		資料作成費	
		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)	311,655	ウェブページ 掲載代	
		茶菓子代		振込料	
4 広聴費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		茶菓子代		振込料	
5 要請・陳情活動費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
6 会議費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
7 資料作成費		印刷製本費		翻訳料	
		筆耕料		振込料	
8 資料購入費		法規追録代		参考図書代	
		新聞(日刊紙) 購読料		雑誌等購読料	
		有料データベース 等利用料		振込料	
9 人件費		賃金		社会保険料等	
		振込料			
10 事務所費		備品購入費		事務機器等 リース代	
		消耗品等事務費		印刷代	
		振込料		配送手数料	
11 通信運搬・ 自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等	
		自動車燃料費 (按分)		その他	
支出年月日	2023年 8月 29日	現金出納簿 支出番号		合計	311,655

支出明細書兼支出証明書

支出番号

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	③ 広報費	4 広聴費		送料(折込料含む) ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)		政務活動に伴う広報誌(紙)の新聞折り込みのため			
内 容		立憲民主党郡山だより第9号折込み料			
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2023年8月29日	陽光社印刷株式会社		311,655円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 共通 <span style="float: right;">印</span>					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

## 領 収 書

No.004529

立憲民主党郡山 殿

¥ 312,593-

但し 郡山市議会立憲民主党郡山だより  
第9号折込料金

令和5年8月29日 上記正に領収いたしました

内 訳	現金	✓
	小切手	
	約 手	
	振 込	
	相 殺	

取扱者印

**陽光社印刷株式会社**

代表取締役 榎本 光

社 福島市南大野町字新目  
TEL 0245-33-4000 FAX 0245-33-4024

金額訂正並に社印・取扱者印なきものは無効とする

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください

領収書等整理票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

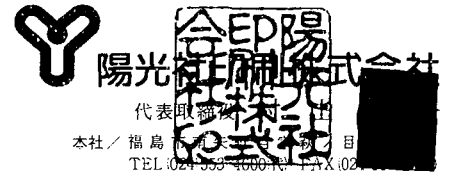
請求書

2023年 7月 20日

No00046702

立憲民主党郡山 様

(150209-00)



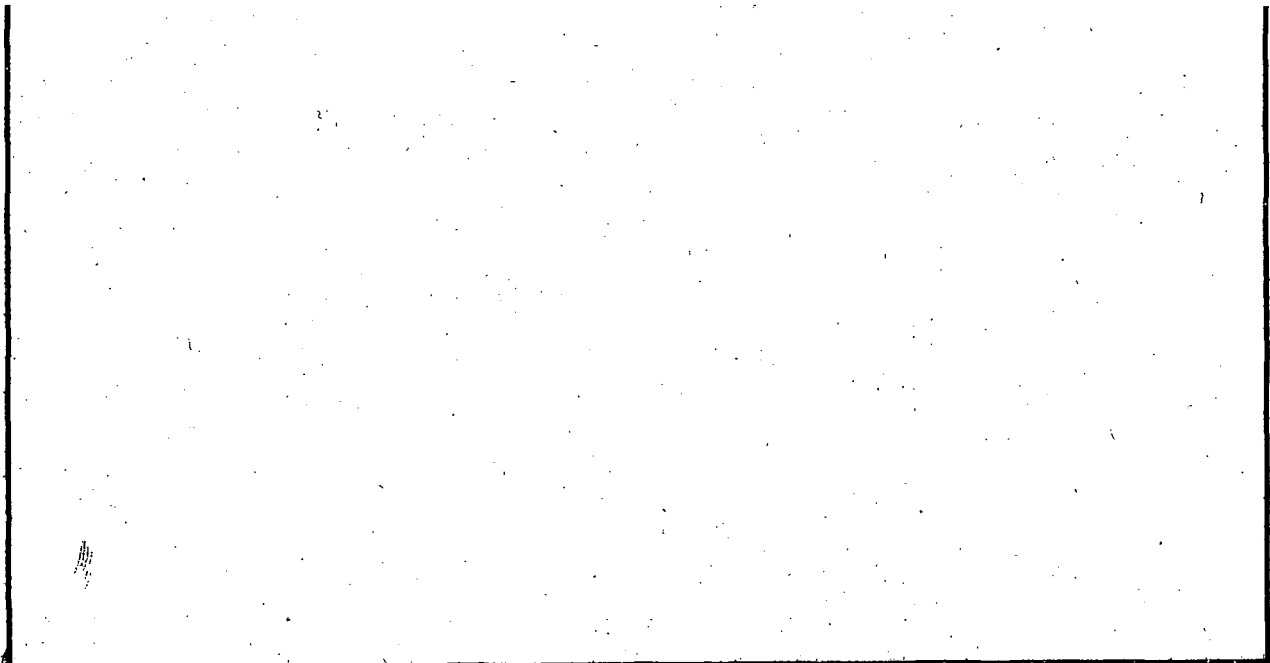
毎度ありがとうございます。下記の通りご請求申し上げます。

No.	品名	数量	単位	単価	金額	消費税等	摘要
23070028	郡山市議会 立憲民主党郡山だより 第9号 2023年7月23日発行 折込料金	63,150	部	4.5	284,175	28,418	

担当: [Redacted]

取引銀行 東邦銀行本店(普) 350139  
 福島銀行本店(普) 030451  
 福島信用金庫本店(普) 0105482  
 東北労働金庫福島支店(普) 3098115

税抜金額計	消費税等計	合計額
284,175	28,418	312,593



広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$364 \text{ mm} \times 257 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 374,192 \text{ mm}^2 \dots i$$

2 対象外面積

$$\textcircled{1} (43 \text{ mm} \times 7 \text{ mm}) \times 2 \text{ か所} = 602 \text{ mm}^2$$

$$\textcircled{2} (43 \text{ mm} \times 5 \text{ mm}) \times 1 \text{ か所} = 215 \text{ mm}^2$$

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} = 817 \text{ mm}^2 \dots ii$$

3 按分割合

$$ii \div i \times 100 = \text{対象外按分率 } 0.3 \% \text{ (小数点第2切り上げ)}$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 312,593 \text{ 円} \times \text{対象外按分率 } 0.3 \% = 938 \text{ 円} \dots iii$$

(1円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 312,593 \text{ 円} - iii = \underline{\underline{\text{対象経費 } 311,655 \text{ 円}}}$$

# 立憲民主党郡山だより

6月定例会「議案」の特徴

## 6 物価高騰、ポストコロナへの対策を整え 市民の安全・安心な生活を創ろう!

新型コロナウイルス感染症に対する扱いが5月8日より「2類」から「5類」に引き下げられ、現在様々な経済活動や集会活動などが再開されるなど、日常が戻りつつあります。しかし、感染状況はピーク時に比べて下がってはいるものの、収束している訳ではなく、第9波の到来も危惧されています。今後も重症化予防や発症予防のため、ワクチン接種体制の維持や、医療機関への支援を継続していく必要があります。

立憲民主党郡山市議団は、ウクライナに一日も早い平和が訪れることを祈念するとともに、市民の安全で安心な郡山を創るため、全力で活動を進めてまいります。

### ポストコロナ、住民サービスの向上を!

6月定例会は、6月15日開会、30日閉会の日程で開催されました。

提出された議案は、予算議案2件、条例議案9件、その他議案18件の計29件でした。一般会計補正予算案は、48億8,456万円、特別会計予算案は、8億4,539万円、合計57億2,995万円となりました。

補正予算案として、「地域公共交通事業者・運送業者等への支援」、「新型コロナウイルスワクチンの接種体制の確保」、「(仮称)歴史情報・公文書館の展示システム・展示品の整備」、「こども家庭センターの開設」、「野菜安定生産のための支援」などの議案が提出され、全ての議案が可決されました。

### 立憲民主党郡山、柳田、八重樫議員登壇

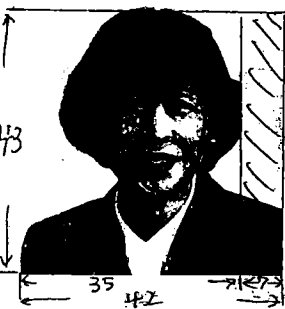
柳田議員は、1. 本市の農業振興と食料自給率の向上について、2. 少子化、人口減少対策について、3. マイナンバーカードの普及について、4. 町内会の活性化と敬老祝賀会開催について、5. 郡山市立河内小学校夏出分校について、八重樫議員は、1. 気候変動について、2. 学校図書館の充実について、3. 地域防災計画について、4. 子育て支援について、5. 介護問題について、当局に質問しました。特に柳田議員は、ロシアのウクライナ侵攻により、世界の食糧供給が混乱に陥っていることを指摘し、今後どのように食糧自給率の向上を図っていくのか、ま

た、農家への肥料購買への助成について質しました。八重樫議員は、本年4月より会計年度任用職員となった学校司書について、文科省の配置基準である1.3校に1人を、いつまでに実現するのか、また、現在ブロック配置されているリーダーを正規職員として計画的に雇用することなどについて、当局を質しました。質問の詳細は、2面をご覧ください。

### 地方財政・被災児童生徒支援関係請願採択!

郡山地区連合より提出された「地方財政の充実・強化を求める」請願、並びに福島県教職員組合より提出された「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める」請願は、委員会・本会議とも全会一致で採択され、国に意見書を提出することになりました。

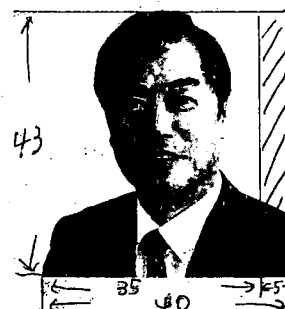
去る4月28日に、臨時会が開催され、小学生の学校給食費を全額公費負担をすることが決まりました。この財源は、国の臨時交付金であり、単年度の財源です。今後一般会計で手当てするなど、継続的に実施できるよう議会で求めてまいります。



総務財政常任委員  
八重樫小代子(七期目)  
立憲民主党郡山市議団団長  
郡山市七ツ池町五一一六  
TEL/FAX 九二一〇五一六



文教福祉常任委員  
飯塚裕(二期目)  
立憲民主党郡山市議団幹事長  
郡山市字菜根屋敷二二一六六  
TEL/FAX 九三一一九九七



建設水道常任委員  
柳田尚一(二期目)  
立憲民主党郡山市議団経理担当  
郡山市逢瀬町河内字屋敷一五七  
TEL/FAX 九五七三二二四

364 mm

297mm

## 一般質問 市政について、立憲民主党郡山から質問しました。

質問者 柳田 尚一

### 農業振興と食糧自給率向上を図るべき！

**質問** ロシアによるウクライナ侵攻や急激な気候変動で世界の食糧供給は極めて深刻であり日本のカロリーベースの食料自給率は2020年の時点で、37%という低水準にあります。また、化学肥料の価格高騰が農家にとって大変な打撃となっており、今後の農業振興・食糧自給率向上と化学肥料購買への助成は。

**回答** 農業の安定化を図るため、農商工連携、6次化、産学官連携のもと、農業法人を含めた個別生産性を高めていくため、農業法人化、新規就農支援、農業DXなどを推進し農業振興に努め食料自給率の向上に努めてまいります。化学肥料購買への助成は2022年6月から2023年5月までに購入した肥料の価格上昇分について、国、県から合計85%を支援しております。今後におきま

しても価格動向を注視して柔軟な対応をしてまいります。

### 少子化対策に奨学金拡充を！

**質問** 少子化の要因の一つとして、家計負担の上位となっている教育費対策として、他市は大学生まで対象としている。本市も大学生まで奨学資金の拡充を！

**回答** 大学生向けの経済支援策につきましては、日本学生支援機構が窓口になり2020年4月から開始した高等教育の修学支援新制度や、民間団体、大学独自の奨学金制度など多様な支援が図られています。これまで通り、篤志家の意向に沿いながら高校生までとします。

### 敬老祝賀会開催について

**質問** 今年度の敬老祝賀会は市がかわらず各地域の自主性に任せるとしていますが、市からの助成金もなく地域での独自開始は大変厳しいと思います。市は今年度の状況をどのように考えているのか伺います。また、

来年度からの開催について伺います。

**回答** コロナウイルスの影響により中止した期間を除くと、2019年度が直近の開催であり、参加率は約20%と低迷しております。また、実行委員会自身が高齢化し負担が大きいの意見がでています。これらの状況を踏まえ今後の敬老会について現行の方式を終了していきたいと考えております。しかし、開催経費の助成について、強い要望があるため激減緩和の必要性を踏まえ検討させていただきます。さらに、本年度の各地区の開催状況を踏まえ引き続き検討してまいります。

### 夏出分校の利活用について

**質問** 充実した校舎を地域住民の社会福祉や健康増進に向け、社会解放すべきと考えます。

**回答** 夏出分校は現在教育関係や選挙関係等の行政備品の保管庫として使用しており、今後も保管庫として使用してまいります。なお、校庭は柔軟に対応してまいります。

## 一般質問 市政について、立憲民主党郡山から質問しました。

質問者 八重樫 小代子

### 学校給食は継続して無償化を！

**質問** 単発、短期での学校給食費の無償化では、保護者は不安ではありません。国へ学校給食法の改正や財源などについて要望するなど、来年度以降の実現に向けた当局の方針は。

**回答** 来年度以降については、国の財政支援等の状況を踏まえながら、2024年度の子算に計上できるよう、関係部局と総合的に検討しているところです。なお、学校給食調理提供に関するソフト面のほか、中学校給食センターの再整備等、ハード面でも経常コスト縮減に向けた調査研究を進めているところです。

### 国民年金で入所できる介護施設を！

**質問** 令和5年4月1日現在で、本市の特別養護老人ホームの入所待機者は1,195人となっていますが、国民年金を満額支給（令和5年度

66,250円）されている方が、入所できる施設の状況と、その現状は。

**回答** 特別養護老人ホームの入所待機者の市内待機者は、1,195人で、原則入所が可能な要介護3以上で、早期入所希望の在宅の方は277人です。現在策定を進めております第九次介護保険事業計画において、本年7月に提示される予定の国の第9期介護保険事業計画の基本指針案や、本市における介護保険サービス見込量等の将来推計、利用者や事業者を実施した調査等をもとに検討します。

### 小中学校体育館の空調(冷房)整備を

**質問** 屋内運動場の補助割合は、1/2（令和7年度まで）」と明記されています。本市の市立小中学校体育館は、空調（冷暖房設備）整備はゼロです。毎年、熱中症警戒アラートも発表されている状況でもありますし、学校教育はもちろん、地域への活動開放、災害時の避難所としても早急に整備すべき。

**回答** 全国の小中学校体育館は、エアコン整備率が11.9%、県内では、1.7%と低水準です。改修内容にもよりますが、一施設当たり約1億の改修費用とランニングコストを要するためです。当面は、体育館の窓や出入口を全開し、大型扇風機により換気を良くしながら運用しますが、大規模な改修をすることなく導入している自治体もあることから、多角的に研究してまいります。

### 学校図書館学校司書の正規化は。

**質問** 全市立小中学校を東西南北中の5つのブロックに分け、各ブロックの小中学校の学校司書からの相談を受けやすくするためにリーダーを置いています。将来的に、まずはリーダーを正規職員として計画的に雇用するよう、令和8年度までに検討すべき。

**回答** 各方部内での相談役、まとめ役、学校教育推進課へのつなぎ役をして頂いています。今後は、現在の体制を継続しながら、相互支援体制等の充実に努めてまいります。

# 6月議会で決まったこと

## みなさまの暮らしと市政に反映されます！

### 施設の指定管理者を更新 8施設新規導入へ 123億4,035万円

2024年3月末で満了を迎える指定管理者制度導入施設の指定更新と新規導入によりPPP（官民連携）を推進し、民間事業者のノウハウ等を活用し、市民サービスの更なる向上を図るとの提案がされました。

内訳は、更新施設61、債務負担行為額119億3,711万円（労働福祉会館施設、総合福祉センター等福祉施設、子育て支援センター等子育て施設、ユラックス熱海等コンベンション施設、市民文化センター等文化施設、カルチャーパーク等公園施設等）。新規施設8、4億324万円（浄土松公園、待池公園、庭球場、東部体育館・スポーツ広場、東部森林公園等）。なお、新たな指定管理者による運営開始は、令和6年（2024）年4月からで、指定期間は3～5年間となっています。

※PPP（官民連携）の名の下、指定管理施設が増加しています。このところ、指定管理がグルーピングされ、指定管理料が削減されています。そこで働く人たちの賃金に影響が出ないことを強く望みます。また、施設の使い勝手を良いものにするために、障がい者や高齢者など、当事者の声をよく取り入れてほしいとの声が、立憲民主党郡山会派に寄せられています。

### 地域公共交通事業者・運送事業者等への支援 臨時交付金 8,535万円

地域公共交通事業者の通行維持、運送事業者の地域物流確保に向け、原油価格・物価高騰に対する支援のほか、省エネ対策に資する整備、コスト削減・業務効率化などの投資的経費に対する支援を行います。要件は（一般旅客自動車運送事業者、一般貨物自動車運送業者、特定貨物自動車運送業者、貨物軽自動車運送業者、公安委員会の認定を受けた自動車運転代行業を行う事業者）でさらに市内に本社又営業所がある事業者で登録・保管場所が市内であることが証明で

きる車両を対象としています。

業種・車種	1台あたり 支援額	車両台数	支援額 (予算額)
路線バス (高速バス含む)	7万円	150台	1,050万円
タクシー	2万円	575台	1,150万円
貸切バス	5万円	180台	900万円
トラック (緑ナンバー)	1万円	5,330台	5,330万円
軽貨物 (黒ナンバー)			
運転代行業	7,500円	140台	105万円

### 新型コロナウイルスワクチンの 接種体確保に！ 10億5,635万円

新型コロナウイルス感染症の重症化予防及び発症予防を目的として、ワクチン接種体制を確保し、2024年3月末まで接種を実施することが決まりました。

#### 《対象者》

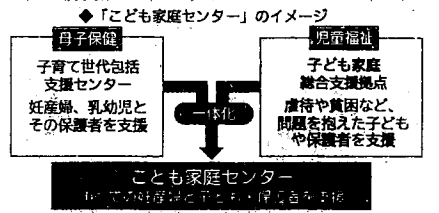
- 1・2回目接種を終了した方のうち  
☆春開始接種（8月31日まで）  
65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する方、医療従事者等  
(107,000人)
- ☆秋開始接種（9月以降）  
5歳以上のすべての方  
(317,000人)



### 子ども家庭センター開設に！ 1,620万円

児童福祉法に基づく「子ども家庭センター」の開設に向け、ニコニコ子ども館の整備を進めることが決まりました。

#### 《設置が努力義務化》



- ◎ニコニコ子ども館内部を改修
- ・子ども家庭未来課→2階

- ・子ども家庭支援課→3階
- ※一体型相談窓口を開設

### 海外からの観光誘客・輸出促進プロモーションの強化 2,882万円

地域産品の輸出促進及びインバウンド観光拡大のため、こおりやま広域圏・農商工等連携により海外プロモーション活動を強化する。

- 1、◎アジア誘客モニターツアー事業（台湾・タイ・ベトナムへ誘客プロモーションを実施）◎外国人誘客用ガイドブック作成
- 2、海外販路開拓等支援補助金 ◎海外での物産展、商談会への出展等に要する経費を支援
- 3、海外観光誘客プロモーション事業(台湾)◎日本東北遊楽日(台北)への出展
- 4、輸出促進プロモーション事業(ベトナム)◎現地（ホーチミン）への出展、◎為替変動・輸出対策研究会など  
連携団体はJAさくら、JETRO福島、JICA、現地事業者などとなります。

### 新事業開発プロジェクトと 再エネ導入を実証実験 2,019万円

企業版ふるさと納税（河村電器産業株式会社）を活用し、産学金官連携による新事業創出と人材育成を図る。また、戦略的な企業誘致を図るため、西部第一工業団地への再生可能エネルギー導入に向けた調査事業を実施します。

- 事業概要として地元企業、市職員、学生等から10名ほど公募し、構想立案に必要なスキルを習得する。
  - 異なる立場の参加者により多様な視点で考える。
  - ビジネスモデルを検討した上で新事業を取りまとめ地域再生計画の実現を目指す。
- 西部第一工業団地への再エネ導入調査事業として、産総研・郡山市・事業者が営農太陽光発電の実証連携協定を結び、発電事業と農作物に与える影響の調査を進めます。

郡山市には4つの常任委員会があり、予算・条例などの議案や、請願などを専門的かつ効率的に審査をし、さまざまな政策実現に取り組んでいます。



## 総務財政常任委員会

郡山市国民健康保険特別会計  
税率本算定について 総務財政常任委員  
八重樫小代子

国保加入世帯数は40,693世帯で約69%が所得200万円未満、所得43万円未満世帯が全体の約32%。所得割・平均割の軽減対象世帯数は23,383世帯で全体の約57%、約97%が3人以下世帯、単身世帯が全体の約64%です。今回、後期高齢者支援金分の課税限度額が20万円→22万円、668世帯、全体の約1.6%が上がります。税額が下がる世帯が227世帯です。我党派も資産割の廃止や軽減策を求めてきました。今後も求めてまいります。



## 建設水道常任委員会

建設水道常任委員  
五百淵公園里山再生事業整備が進む 柳田 尚一

令和4年度のPDCAサイクル事業選定の五百淵公園里山再生事業について、事業評価として現地視察してまいりました。  
森林整備における機械、資材等の搬入・搬出作業道の整備、整備区域2.5ヘクタールのうち1ヘクタールの間伐、間伐した樹木チップ材の歩道への敷き詰め作業など、自然に戻す施策が進められ、今後、市民の憩いの公園となります。



## 文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員  
更生園の今後のあり方について 飯塚 裕一

更生園は、昭和45年に障害福祉サービス事業所として建設され、現在生活介護、日中一時支援のサービスなどを提供しています。施設の老朽化に伴い立替を行う必要があります。民間活力利用に向けた可能性調査が行われました。今後、調査結果を基にした整備計画が示されることとなりますが、利用者ニーズに応じた充実したサービスが提供されるのか内容等を精査してまいります。



## 環境経済常任委員会

環境経済常任委員  
こおりやま園芸産地づくり支援事業

JAギガ団地構想に位置付けられた「夏秋キュウリ」の施設、輸出を見据えた「サツマイモ」の機械等を導入して、産地化に取り組む営農集団を支援します。キュウリ産地支援としてパイプハウスなどの経費、サツマイモ支援として収穫機、つる切り機などの導入となります。キュウリの需要拡大やサツマイモの東南アジア向け輸出が増加傾向にあり更なる需要拡大が農業振興へと繋がります。

## 立憲民主党郡山だより 「地方財政の充実・強化」、「被災児童生徒支援等事業」継続の請願採択!

本定例会には、福島県連合より「地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書」、福島県教職員組合より「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書が提出され、いずれも全会一致で採択されました。請願の内容は、以下の通りです。

### 《地方財政の充実・強化を求める請願》

現在地方公共団体は、急激な少子・高齢化の進展に伴う子育て、医療・介護など社会保障制度の整備、人口減少下における地域活性化対策、脱炭素化をめざした環境対策、度重なる自然災害に対する防災・減災や災害復旧の取り組み、さらに行政のデジタル化の推進など、極めて多岐にわたる役割を求められています。しかし、現実には地域公共サービスを担う人材が不足しているだけでなく、急激な物価高騰で急増する多様な社会保障ニーズへの対応など、新しい課題も次々と出てきています。地方自治体がこれらの増大する課題に対応するには、行政需要に見合った国の財政支援が不可欠です。私たちは、本請願の紹介議員となり各党派を回り、請願の採択に向け積極的に取り組みを進めました。

### 《被災児童生徒支援等事業に関する請願》

東日本大震災から12年が過ぎましたが、未だ福島県には令和4年4月1日時点で約4,900人も子どもが県内外で避難生活を送っています。今なお経済的な支援を必要とする子どもたちは多く、就学等のためには長期的な支援が欠かせません。国は、東日本大震災で被災し経済的理由により就学等が困難な子どもを支援するため、単年度の交付事業として被災児童生徒就学支援等事業を全額国庫負担で行ってきました。令和5年度も約8億円が計上され、小学生に対する学用品等の援助、高校生に対する奨学金支援等が実施され、被災した子どもたちが学びを続けていくための極めて有効な事業として機能しています。

しかし、この事業に係る予算措置は単年度のため、事業が終了、縮小することになると、自治体の負担となることが危惧され、今後も充実した支援を続けていくには、国の財政的支援は欠かせません。従って、本請願に対しても採択に向け各党派を回り、紹介議員の獲得に積極的に取り組みました。

提言・ご意見をお寄せください。

## 編集後記

郡山市議会6月定例会は、6月15日開会し、同月30日に閉会しました。2019年9月から4年間の任期の議会が終了致しました。

この4年間は、令和元年東日本台風、度重なる地震、新型コロナウイルス感染症、物価の高騰など深刻な問題が続きました。私たち立憲民主党郡山は、3人の市議会会派として、これらの問題解決に向け、市民の皆さまの声を大切に、仲間たちと勉強会を重ねながら、市議会で質問、発言して参りました。少子化や若者・子どもの貧困、ヤングケアラーや老々介護・シングル介護などによる介護者の負担解消、学校教育の充実、働き方改革、雇用対策、防災・減災・災害への備え、農業支援など追及してきました。

立憲民主党郡山は、「人と環境、くらしを大切にした市政」に向け、今後も市議団3人で力を合わせ取り組んで参る所存です。